

本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の
機器で使っていた
ディスクやカード



フォーマット
すると



そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

本機で記録できる
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容は
すべて消去され元に戻すことができま
せん。（パソコンデータなども含む）
すべて消去してよいか確認してから
行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクト
を設定していても消去されます）

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる録画モード	フォーマット	備考
	—	放送画質 ハイビジョン画質	DR 1.5～12.5倍録	必要	記録方式の設定は ありません。
	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5～12.5倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	— (ディスクによる)	
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。			
	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5～12.5倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	不要	デジタル放送は 記録できません。
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。			
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	デジタル放送は 記録できません。



BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

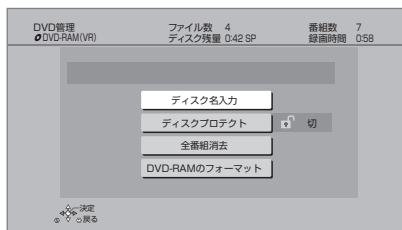
- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ (BD) /DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

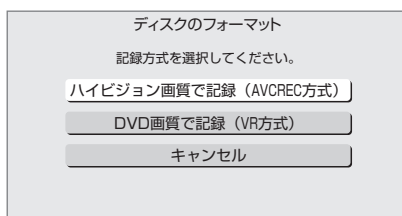
- 未使用の **-R** を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。(→手順 6 へ)

5 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

例) **RAM**

6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) **RAM**

お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。
- SD** 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- R** 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(→126) を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW** 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD** フォーマットは「HDDのフォーマット」(→138) で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

(ファイナライズしたディスクではできません)

1 **スタート** を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

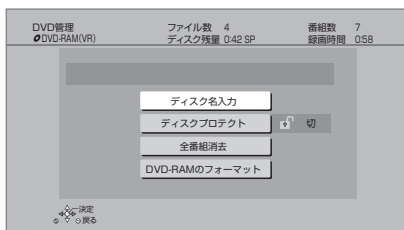
•表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、**決定** を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、**決定** を押す

5 操作したい項目を選んで、**決定** を押す
(→ 下記へ)

例) **RAM**



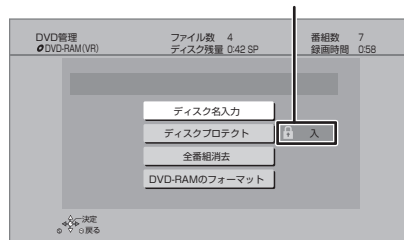
ディスクプロテクト

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

⑥ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**決定** を押す

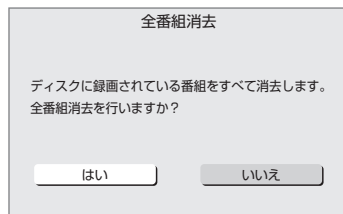
プロテクト設定すると「**入**」が表示



全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

例) **RAM**



⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す

⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

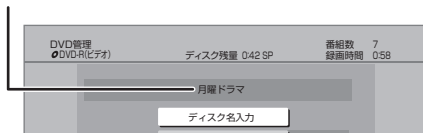
- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- **BD-RE** **RAM** 写真は消去されません。
- **BD-R** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** 消去しても残量は増えません。

ディスク名入力

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

文字入力については (→119)

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



他の機器で再生できるようにする (ファイナライズ)

基本操作



ファイナライズ
すると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては
他の機器で再生できない場合があります。



ファイナライズ
すると

再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に
対応している場合、再生できます。

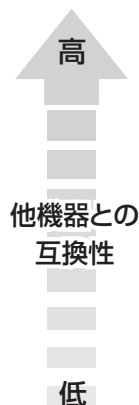


ファイナライズ
すると

再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に
対応している場合、再生できます。

対応機器には **AVCREC™** が付いています。

・対応機器以外で使用しないでください。ディスクが
取り出せなくなるなど故障の原因になります。



BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。

126 ページ手順 1 ~ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示される
トップメニューの背景を設定できます。

⑥ お好みの背景を選び、**決定** を押す



● トップメニュー内に表示される画像 (サムネイル) は
変更できます。(→74 「サムネイル変更」)

ファーストプレイ選択

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生の始め方を設定で
きます。

⑥ 「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、
決定 を押す

トップメニュー: 番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1 : 先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生 (ファイナライズ) 他の BD 機器再生 (ファイナライズ)

-R **-RW** **BD-R**

⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す

⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示され
るまで、絶対に電源コードを抜かないでください。
ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできない
ことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくな
ります。
- **-RW(VR)** 「ファイナライズ解除」(→ 下記) を行うと、記録や編集
ができます。

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるように
します。

⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す

⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない
場合があります。

必要とき

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

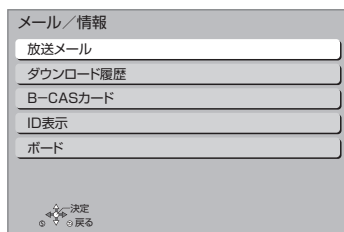
1  を押す

2 「メール / 情報・診断コード」を選び、 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「メール / 情報」を選び、 を押す

4 項目を選び、 を押す



B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示


本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

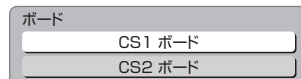
 その他の情報を見るには

- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。


1 「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、 を押す



2 確認したい情報を選び、 を押す

放送メール

放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。


確認したいメールを選び、 を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。
- ソフトウェアの更新については（→147）

ダウンロード履歴

ダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

 表示されていない番組を表示するには

- ① [サブメニュー] を押す
- ② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
- ③ 暗証番号（→138 「HDD 番組の視聴制限」）を入力する

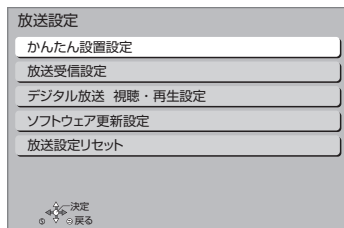


1 スタートを押す

2 「放送設定」を選び、「決定」を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、「決定」を押す



4 設定項目を選び、「決定」を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

かんたん設置設定

かんたん設置設定 (→173)

放送受信設定

【 】はお買い上げ時の設定です

受信対象設定

使わない放送を操作できないようにします。

- 地上デジタルは設定できません。

BS/CS

【使う】

チャンネル設定 (→134)

地上デジタル / BS/CS1/CS2

番組表設定

Gガイド地域設定

「かんたん設置設定」(→173)を行うと、自動的に設定されます。

Gガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信によるGガイド受信

【切】

「入」に設定すると、1カ月の番組表や注目番組を取得することができます。

- 番組表はインターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。
- 「入」にすると、常時接続状態になります。
- 1カ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。
- 2012年2月現在、ネットワークから番組情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定 (→132)

地上デジタル

アッテネーター

【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル (→132) を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源

【入】

アンテナ出力

【入】

本機のBS・110度CSアンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

(放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください)

B-CASカードテスト

NGの場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

放送設定を変える（放送設定）（続き）

デジタル放送 視聴・再生設定

【 】はお買い上げ時の設定です

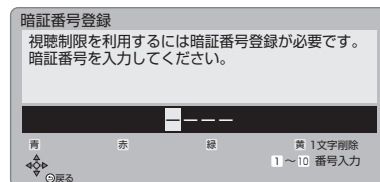
字幕設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。

XP、SP、LP、EP、FRモードで録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕	【切】
字幕言語	【日本語】
文字スーパー	【切】
文字スーパー言語	【日本語】

制限項目設定



画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢 【無制限】

- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

ブラウザ制限 【しない】

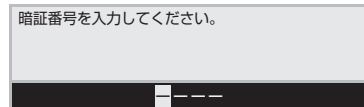
「アクトビラ」を利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

🔔お知らせ

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。



- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象 【すべて】

デジタル放送で【チャンネルへ、▼】を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。



ソフトウェア更新設定

【 】はお買い上げ時の設定です

ダウンロード予約

【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のもの書き換えます。

(→147)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(→128「放送メール」)

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」(→129)をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDやUSB-HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(→138)や「USB-HDDのフォーマット」(→138)を行ってください。

放送設定を変える（放送設定）（続き）

アンテナレベルを確認する

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- 受信中のアンテナレベルは、[サブメニュー]を押して、「デジタル放送メニュー」の「アンテナレベル」を選んでも確認できます。表示されない場合は、もう一度[サブメニュー]を押してください。
- アンテナの説明書もご覧ください。

アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

1 **スタート** を押す

2 「放送設定」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「放送受信設定」を選び、**決定** を押す

4 「受信アンテナ設定」を選び、**決定** を押す

5 修正したい放送を選び、**決定** を押す
(→ 右記または 133 ページへ)

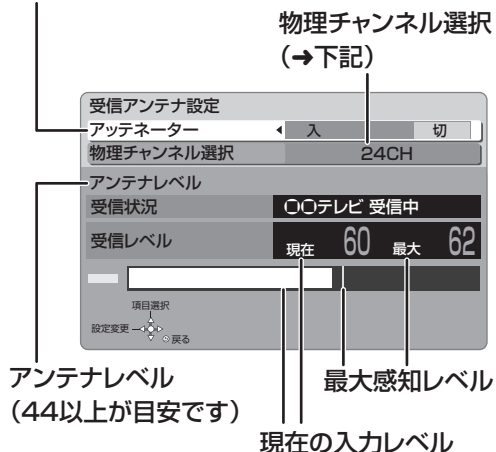
地上デジタル

左記手順 1～5 のあと

6 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アッテネーター

- アンテナレベルが大きくなる方を選択してください。



物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH ～ 62 CH）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定]を押し、[1] ～ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定]を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、再度「かんたん設置設定」(→174)をやり直してください。
 - ・アッテネーターを切り換える
 - ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



衛星

132 ページ手順 1 ~ 5 のあと

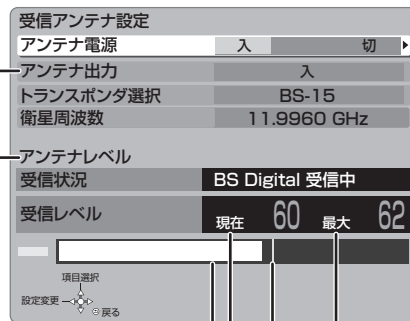
6 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入（オン）」にしてください。

7 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力

- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。



アンテナレベル (50以上が目安です) 最大感知レベル
 現在の入力レベル

☞ 「他の衛星受信中」の表示が出たとき







BS・110度CSデジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

🗨️ お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

放送設定を変える（放送設定）（続き）

受信チャンネルを修正する

- 1  を押す
- 2 「放送設定」を選び、 を押す
 - 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。
- 3 「放送受信設定」を選び、 を押す
- 4 「チャンネル設定」を選び、 を押す
- 5 修正したい放送を選び、 を押す
(BS、CS1、CS2 の場合 →135 ページへ)
- 6 (地上デジタルのみ)
修正する方法を選び、 を押す
(→ 右記または 135 ページへ)


地上デジタル 初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

左記手順 1～6 のあと

- 7 お住まいの地域を選び、 を押す


- 8 受信帯域を選び、 を押す

- 9 正しく設定されていることを確認したあと、
 を押す

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1～6 のあと

- 7 正しく設定されていることを確認したあと、
 を押す



地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	---
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po : 「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼]を押してください。

CH : テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

134 ページ手順 1～6 のあと

7 修正したい行 (Po) を選び、 を押す

8 表示チャンネル (CH) を修正し、 を押す

9 修正が終わったら、 を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

- ① [緑] を押す
- ② 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、[決定] を押す
- ③ 入れ換え先の行 (Po) を選び、[決定] を押す
- ④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

BS、CS1、CS2

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BS プレミアム	テレビ
4	141	BS日テレ	テレビ
5	151	BS朝日1	テレビ

Po : 「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼]を押してください。

CH : テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

134 ページ手順 1～5 のあと

6 修正したい行 (Po) を選び、 を押す

7 表示チャンネル (CH) を修正し、 を押す

8 修正が終わったら、 を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

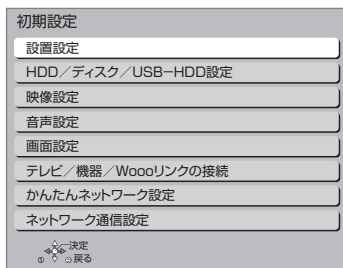
- ① [緑] を押す
- ② 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、[決定] を押す
- ③ 入れ換え先の行 (Po) を選び、[決定] を押す
- ④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

本機の設定を変える（初期設定）

1 初期設定 (ふた内部) を押す

- [スタート] を押して、「初期設定」を選んででも設定することができます。

2 メニューを選び、決定 を押す



3 設定項目を選び、決定 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

4 設定内容を変更する

設置設定

【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源 [切] [6 時間]
操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2 時間後または 6 時間後に、電源が切れます。

リモコンモード (→144) [リモコン 1]

時刻合わせ

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に時刻を修正しますので、通常は時計合わせの必要はありません。

本体表示窓に右記の表示が出ている場合は、アンテナ線の接続を確認してください。



クイックスタート設定

クイックスタート [切]

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。（テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります）

- 待機時消費電力は増えます。
 - 本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません）
 - 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。
 - ・「i.LINK 機器モード設定」(→141)：「TSモード2」
 - ・「AV ネットワーク機能」(→143)：「入」
- 「切」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード

クイックスタート (→上記) が「入」時の設定をします。

- 「省エネ」の場合、「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
電源「切」時に本体表示窓は消灯します。
- 「標準」の場合、テレビと HDMI 端子で接続時は、無信号自動オフ機能が働かない場合があります。



エコ待機モード 【モード1】

[**エコ待機**] を 3 秒以上押して電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

- ・時刻
- ・DVD-Video の視聴制限
- ・BD-Video の視聴可能年齢
- ・HDD 番組の視聴制限
- ・USB-HDD の登録
- ・かんたんネットワーク設定
- ・IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定
- 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合（本体表示窓に“U30”と表示）、リモコンモードを変更してください。（→182）

HDD/ ディスク /USB-HDD 設定

【 】 はお買い上げ時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限^{*1} 【8 すべて視聴可】

DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢^{*1} 【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

- 「年齢入力」を選んで [**決定**] を押すと、[**1**] ~ [**10**] で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続^{*1} 【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するとき、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

BD-Video の 2D → 3D 変換モード 【モード1】

3D 変換中の表示方法を選びます。

- 「モード1」の場合は、副映像を表示できません。

音声言語^{*2} 【日本語】

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語^{*2} 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語^{*2} 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画 (AVCHD) が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画 (AVCHD) を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定

外部入力音声設定 【ステレオ】

外部入力から録画時の音声の種別を選びます。

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声（二カ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 **-R(V)** **-RW(V)**

ぴったり録画の音声設定 【ステレオ】

ぴったり録画（→98）で記録する外部入力からの音声の種別を選びます。

- 「二重音声」にすると、「二重音声記録時の音声選択」（→下記）で選択した音声のみを記録します。

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声（二カ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [**1**] ~ [**10**] で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

※2 「その他****」の場合、*には [**1**] ~ [**10**] で言語番号（→147）を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

高速ダビング速度 【最高速モード】
高速モードでのダビング速度を設定します。
(高速記録対応ディスクの場合など)

自動チャプター 【入】
デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。
●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組のVGA画質 【モード1】
「持ち出し番組の画質」を「高画質 (VGA)」に設定して作成する場合に、記録する画質 (1.5 Mbps/1.0 Mbps) を変更します。

MP4 取り込み画質 【高画質モード】
本機に MP4 を取り込むときの画質を設定します。

HDD 番組の視聴制限^{※1} 【無制限】
年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。(年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります)

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

全写真消去

写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録 (→153)

市販の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し (→152)

市販の USB-HDD を本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

USB-HDD のフォーマット

市販の USB-HDD の初期化を行います。

すべての USB-HDD 登録の取り消し (→153)

登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ~ [10] で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。



映像設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード

【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

HD ノイズフィルター

【切】

ハイビジョン信号をざらつきが少なく柔らかい画像にします。

音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD に有効

- 「オート」は、Dolby TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD 【Bitstream】

DTS/DTS-HD 【Bitstream】

AAC 【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

- 接続機器が、それぞれの音声に対応していない場合、「PCM」にしてください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む **BD-V**）

【入】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入/切を設定します。

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」(→上記) が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合、「ノーマル」で出力されます。
 - ・ **AVCHD** 再生時
 - ・ **BD-V** 副音声や操作音を含んでの再生時

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

DV 入力時の音声設定

【ステレオ 1】

i.LINK（DV入力 /TS）端子からの録画時、音声の種類を選びます。音声は以下ようになります。

- 「ステレオ 1」は、録画時の音声（L1、R1）
- 「ステレオ 2」は、編集などであとから追加した音声（L2、R2：ナレーションなど）
- 「MIX」は、ステレオ 1 とステレオ 2 の音声
- 二重放送の音声を記録する場合は、「二重音声記録時の音声選択」（→137）で音声をあらかじめ選んでください。

音声ディレイ

【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定

【】はお買い上げ時の設定です

画面表示動作（オート）

【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。

「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。

[HDMI 端子と接続して、「HDMI出力解像度」（→141）が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ

【常時 明】

本体表示窓の明るさを調節します。

テレビ / 機器 / Wooo リンクの接続

【】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 方式設定

【フル HD】

接続しているテレビの方式に設定します。

- 「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 番組の出力方法

【3D】

3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示

【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

Wooo リンク設定

Wooo リンク制御

【入】

Wooo リンクに対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

TV アスペクト

【16:9】

接続したテレビに合わせて設定します。

4 : 3 : 4 : 3 標準テレビに接続しているとき

4:3 の映像は、そのまま表示



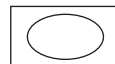
16 : 9 : ワイドテレビに接続しているとき

4:3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示



16 : 9 フル: ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4:3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示





HDMI 接続

HDMI 出力解像度

【オート】

接続した機器が対応している項目に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

- ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に 5 秒以上押す
 - ・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
 - ② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで **【▶】** を数回押す
 - ③ **【決定】** を 3 秒以上押す
 - ・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。
- 「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力

【切】

「HDMI 出力解像度」(→上記) が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効です

BD-V **AVCHD** 映画など 24p 記録された素材を 24p 出力します。

- 24p 出力時は、HDMI 端子以外の端子からは正しく出力されません。
- 24p 以外の素材は **BD-V** **AVCHD** の場合 60i または 60p で出力されます。

DVD-V や録画した番組を 24p 出力するには、この設定を「入」にして、「24p」(→71) を「入」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ

【スタンダード】

RGB 入力のみに対応した機器(DVI 機器など)との接続時に有効

HDMI 音声出力

【入】

Deep Color 出力

【オート】

Deep Color 対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング **BD-V**

【オート】

6.1 チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

- 以下の場合に有効
 - ・接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合
 - ・「デジタル出力」(→139) が「PCM」の場合
 - ・音声は Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM のとき
- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します)
- DTS 音声は「切」にしても、DTS, Inc. の仕様により 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ

【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

TV アスペクト (4:3) の設定

4:3 テレビに接続時、16:9 映像の映し方を選びます。

- 「パン & スキャン」は左右の切れた映像で、「レターボックス」は上下に帯のある映像で再生します。



パン & スキャン



レターボックス

DVD-Video の 16:9 映像

【パン & スキャン】

パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。

録画ディスクの 16:9 映像

【レターボックス】

「スルー」は、録画された映像のままで再生します。

- DR、1.5 ~ 12.5 倍録モードの番組は、レターボックスで再生します。

i.LINK 機器モード設定

【DV モード】

i.LINK (DV 入力/TS) 端子に接続した機器に合わせて設定します。

- 「TS モード 2」にすると、「クイックスタート」(→136) は自動的に「入」になります。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定（→175）

ネットワーク通信設定 【】はお買い上げ時の設定です

基本設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」（→上記）を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP*サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしているときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」（→上記）を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」（→上記）を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

接続テスト



宅内ネットワーク設定

AV ネットワーク / スカパー! HD 録画設定 (→146)

AV ネットワーク機能 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→136)は自動的に「入」になります。

アクセス許可方法 【自動】

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示 【切】

- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。(HDD が容量不足の場合、「入」にはできません)

自動更新 【入】

- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。(更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。


本機の設定を変える（初期設定）（続き）

リモコン設定をする


リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぎます


リモコンモード

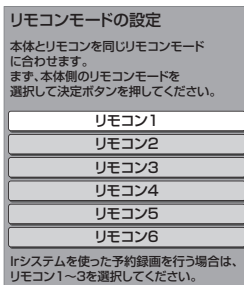
本機の近くに他のブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 初期設定 （ふた内部）を押す




2 「設置設定」を選び、を押す

3 「リモコンモード」を選び、を押す

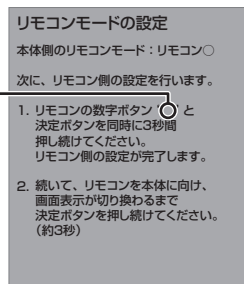
4 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、を押す



リモコン側のモードを設定する

5 あ  は （ふた内部）のいずれかを押しながら、を3秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。



6 リモコンを本体に向けて、を3秒以上押す

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

7 を押す

- リモコンモードの設定を終了します。

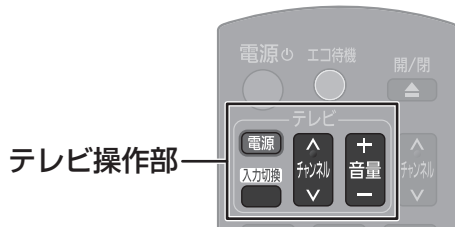
お知らせ

- セットトップボックスなどのIrシステム（➔163）を利用する場合は、Irシステムのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。また、本機のリモコンモードは「リモコン 1」～「リモコン 3」のいずれかをお使いください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。



本機のリモコンでテレビを操作する

設定すると、リモコンのテレビ操作部でテレビの操作ができます。



戻る
 ⑤ を押しながら、**1** あ の 記 号 ~ **10** の 記 号 (ふた内部) を使
 て、2桁のメーカー番号 (→ 下記) を入力する

例) 01 の場合… [10] → [1] 10 の場合… [1] → [10]
 11 の場合… [1] → [1] 12 の場合… [1] → [2]

- リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
- 番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

メーカー名	メーカー番号
日立	05, 20
アイワ	18
NEC	06, 15
三洋	07, 16
シャープ	02, 11, 21
ソニー	03, 17
東芝	04
パイオニア	13
パナソニック	01, 10, 22, 23, 24
ビクター	14
富士通ゼネラル	09
フナイ	19
三菱	08, 12, 25

🗨️ お知らせ









- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- [1]~[12] を使ってテレビのチャンネル変更はできません。テレビ操作部の [チャンネル へ、▼] をお使いください。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）




ネットワーク連携する機器の設定をする





DLNA 対応の機器 / スカパー! HD 対応チューナー / AV ネットワークダビング対応当社製テレビなどと接続する

AV ネットワーク / スカパー! HD 録画設定

- 1 初期設定 （ふた内部）を押す
- 2 「ネットワーク通信設定」を選び、を押す
- 3 「AV ネットワーク / スカパー! HD 録画設定」を選び、を押す
- 4 「AV ネットワーク機能」を選び、を押す
- 5 「入」を選び、を押す
 - 「クイックスタート」(→136) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 6 「アクセス許可方法」を選び、を押す
- 7 「手動」または「自動」を選び、を押す
 - 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
（「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで を押してください。）
 - 「手動」の場合（→右記手順 8 へ）

左記手順 7 で「手動」を選んだ場合

- 8 「機器一覧」を選び、を押す
- 9 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、を押す
- 10 「アクセス許可」を選び、を押す
 - 最大 16 台まで登録できます。

-  登録している機器のアクセス許可を取り消すには（「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ）
- ① 手順 9 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、を押す
 - ② 「アクセス許可取消」を選び、を押す
- 「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順 7 で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。
-  AV ネットワーク機能を使用しないときは
- 手順 5 で「切」を選ぶ
- 登録している機器からの操作はできなくなります。

お知らせ

- スカパー! HD 対応チューナーから録画または予約録画をする場合や、AV ネットワークダビング対応当社製テレビなどからダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。



電源「切」の状態、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込む（オンエアダウンロード）ことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。(→131「ソフトウェア更新設定」)

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。



- “1/5”などは進行状況です。
- “5/5”まで表示したあと表示が消えるまで、本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
- オンエアダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

言語番号一覧

「再生設定（再生専用ディスク）」の言語選択時に使用します。(→137)

アイスランド.....7383	オランダ.....7876	ジャワ.....7487	ドイツ.....6869	ベンガル
アイマラ.....6589	カザフ.....7575	スウェーデン.....8386	ナウル.....7865	(バングラ).....6678
アイルランド.....7165	カシミール.....7583	スペイン.....6983	日本語.....7465	ペルシャ.....7065
アゼルバイジャン.....6590	カタロニア.....6765	スロバキア.....8375	ネパール.....7869	ポーランド.....8076
アッサム.....6583	ガリチア.....7176	スロベニア.....8376	ノルウェー.....7879	ポルトガル.....8084
アフガル.....6565	韓国(朝鮮)語.....7579	スワヒリ.....8387	ハウサ.....7265	マオリ.....7773
アフリカーンス.....6570	カナダ.....7578	スンダ.....8385	ハンガリー.....7285	マケドニア.....7775
アブハジア.....6566	カンボジア.....7577	ズールー.....9085	バシキール.....6665	マダガスカル.....7771
アムハラ.....6577	キルギス.....7589	セルビア.....8382	バスク.....6985	マライ
アラビア.....6582	ギリシャ.....6976	セルボクロアチア.....8372	バシュト.....8083	(マレー).....7783
アルバニア.....8381	クルド.....7585	ソマリ.....8379	バンジャブ.....8065	マラッタ.....7782
アルメニア.....7289	クロアチア.....7282	タイ.....8472	ヒンディー.....7273	マラヤーラム.....7776
イタリア.....7384	グアラニー.....7178	タガログ.....8476	ビハール.....6672	マルタ.....7784
イディッシュ.....7473	グジャラト.....7185	タジク.....8471	ビルマ.....7789	モルダビア.....7779
インターリングア.....7365	グリーンランド.....7576	タタール.....8484	フィジー.....7074	モンゴル.....7778
インドネシア.....7378	グルジア.....7565	タミル.....8465	フィンランド.....7073	ヨルバ.....8979
ウェールズ.....6789	ケチュア.....8185	チェコ.....6783	フェロー.....7079	ラオ.....7679
ウオロフ.....8779	ゲール	チベット.....6679	フランス.....7082	ラテン.....7665
ウクライナ.....8575	(スコットランド).....7168	中国語.....9072	フリジア.....7089	ラトビア
ウズベク.....8590	コーサ.....8872	ティグリニア.....8473	ブータン.....6890	(レット).....7686
ウルドゥー.....8582	コルシカ.....6779	テルグ.....8469	ブルガリア.....6671	リトアニア.....7684
ヴォラピュック.....8679	サモア.....8377	デンマーク.....6865	ブルターニュ.....6682	リンガラ.....7678
英語.....6978	サンスクリット.....8365	トウイ.....8487	ヘブライ.....7387	ルーマニア.....8279
エストニア.....6984	ショナ.....8378	トルクメン.....8475	ベトナム.....8673	レトロマンス.....8277
エスペラント.....6979	シンド.....8368	トルコ.....8482	ベロルシア	ロシア.....8285
オーリヤ.....7982	シンハラ.....8373	トンガ.....8479	(白ロシア).....6669	

同時操作について

録画中の同時操作

(○:できる ×:できない)

録画状態			再生				HDDの編集 ^{※1}	ダビング	
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDD・USB-HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
地上D BS CS	HDD	DR 1.5~12.5倍録	○	○	○	○	○	○	×
	BD	DR	○	×	×	×	○	×	×
		1.5~12.5倍録	○ ^{※2※3}	×	×	×	○ ^{※3}	×	×
	DVD	1.5~12.5倍録	○ ^{※2※3}	×	×	×	○ ^{※3}	×	×
		XP、SP、LP、EP、FR	○ ^{※2}	×	×	×	○	×	×
	USB-HDD	DR	○	○	○	○	○	×	×
外部入力	HDD BD DVD (AVCREC)	1.5~12.5倍録	○ ^{※2}	○ ^{※4}	×	○ ^{※4}	○	×	×
	DVD (VR)	XP、SP、LP、EP、FR	○ ^{※2}	×	×	×	○	×	×
i.LINK	HDD	DR	○	○	○	○	○	×	
DV 入力	HDD	1.5~12.5倍録	×	×	×	×	×	×	
スカーパー! HD (LAN録画)	HDD	—	○	○	×	○	○	○ ^{※5}	×

●「外部入力 (L1) 取込」「DV おまかせ取込」中は同時操作はできません。

●HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1 実行できる編集 (→72 ~ 78)

(ただし、録画モード変換はできません)

※2 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D再生できません。

※3 HDDとディスクに1.5~12.5倍録で同時録画中は、再生や編集ができません。

※4 HDDに録画中のみ。

※5 1倍速ダビングはできません。

ダビング中の同時動作

(○：できる ×：できない)

ダビングの種類	視聴 放送中 の番組	予約録画 の実行	再生					HDD の 編集 ^{※6}
			HDD の 番組	録画 ディスク	BDビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	× ^{※7}	× ^{※7}	× ^{※7}	× ^{※7}	○
1倍速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○ ^{※8}	○ ^{※9}	×	×	×	×	○ ^{※9}
ファイナライズ入で ダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使って ダビング中	○	○	○	○	×	○	○	○

※6 実行できる編集 (→72～78)

(ただし、録画モード変換はできません)

※7 HDD 番組を複製中は、再生できます。

※8 スカパー！HD の番組の予約録画、外部入力の予約録画は実行できません。

※9 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

AV ネットワーク機能の同時操作

(○：できる ×：できない)






本機の操作	クライアント側の操作	
	ビデオを見る	写真を見る
HDD・録画ディスク・DVD ビデオ再生中	○	○
BD ビデオ・AVCHD 再生中	○	×
1 番組録画中	○	○
複数番組録画中	○ ^{※10 ※11}	×
LAN 経由 (スカパー！HD) で録画中	×	×
高速ダビング中	○	×
1 倍速ダビング中	×	×
アクトビラなどのネットワーク使用中	×	×

※10 ディスクに DR モード以外で録画中は、AV ネットワーク機能の使用はできません。

※11 本機側で番組の再生が始まると、AV ネットワーク機能の使用はできません。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

<p>BD ビデオ</p> 	<p>映画や音楽などの市販ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。 	<p>「A」または「A」を含むもの 例)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●リージョンコードは国により異なります。
<p>DVD ビデオ</p> 	<p>映画や音楽などの市販ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。 	<p>「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●番号は国により異なります。
<p>CD</p> 	<p>音楽や音声記録された市販ソフト (CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む)</p> <p>写真が記録された CD-R や CD-RW (JPEG フォーマット記録ディスク)</p>	
<p>+R +R DL (片面2層) +RW</p>	<p>他機器で番組やハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。 	
<p>DVD-RAM DVD-R DVD-RW</p>	<p>他機器でハイビジョン動画 (AVCHD) を記録したディスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。 <p>-R -RW 写真 (JPEG) を記録したディスク</p>	

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA 規格に準拠していない CD (コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
- 本機では、「RAM 2」マークの付いた DVD-RAM ディスク (6X 以上の高速記録対応) の記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- カートリッジから取り出せない DVD-RAM (TYPE1)
- BD-RE (Ver.1.0)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていない DVD-R (ビデオ方式)、DVD-R DL (ビデオ方式)、DVD-RW (ビデオ方式)
- PAL 方式で記録されたディスク
- HD DVD
- ビデオ CD
- SACD
- SVCD
- DVD オーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード (8 MB ~ 2 GB)
(miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む)

SDHC メモリーカード (4 GB ~ 32 GB)
(microSDHC メモリーカードを含む)

SDXC メモリーカード (48 GB、64 GB)
(microSDXC メモリーカードを含む)



- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。(→124)
- SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。(SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます)
非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画 (AVCHD、MP4、MPEG2) の取り込み (→95 ~ 97) や再生 (→61)
- 録画した番組の持ち出し (→114)
- 写真の再生 (→104) や取り込み (→107)

お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にする、カードの内容を誤って消去することを防げます。

書き込み禁止
スイッチ



市販の USB ハードディスク (USB-HDD) について

本機は、USB-HDD を接続し、番組を USB-HDD に録画することができます。

- USB-HDD の説明書もよくお読みください。

推奨 USB-HDD について

録画や再生に適した、以下の推奨 USB-HDD をご使用ください。(2012 年 2 月現在)

- DY-HD500 (パナソニック製)
- HD-AVS2.0TU2/V (バッファロー製)
- HD-AVS1.0TU2/V (バッファロー製)
- AVHD-UR2.0/AVHD-UR2.0B (アイ・オー・データ機器製)
- AVHD-UR1.0/AVHD-UR1.0B (アイ・オー・データ機器製)
- WDBABT0020HBK-JESN My Book AV (ウェスタンデジタル製)
- WDBABT0010HBK-JESN My Book AV (ウェスタンデジタル製)

- 本機で使用する場合、「USB-HDD の登録」(→153)を行う必要があります。
- USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

お知らせ

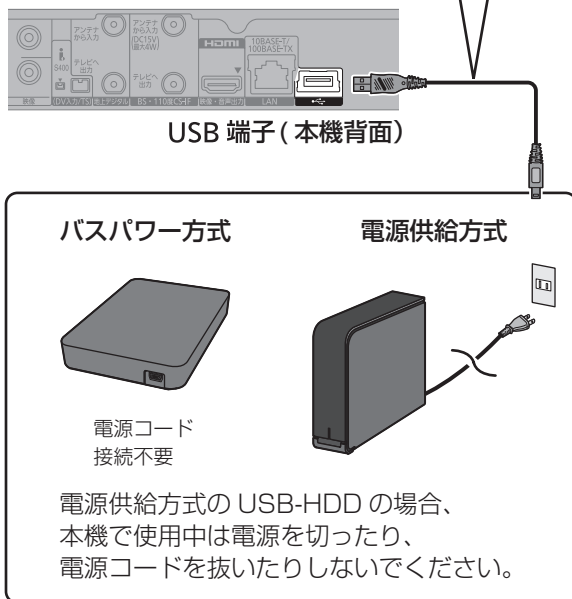
- 本機以外で使用した USB-HDD に録画された番組を再生することはできません。
(本機と同じ型式でも、本機以外で USB-HDD に録画された場合には再生することはできません)

接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

USB 専用ケーブル

接続に使用する USB ケーブルは、USB-HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。



- USB ハブを使用して接続しないでください。

取り外しについて

以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

- ① 初期設定 (ふた内部) を押す
- ② 「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、決定を押す
- ③ 「USB-HDD 設定」を選び、決定を押す
- ④ 「USB-HDD の取り外し」を選び、決定を押す
- ⑤ 「実行」を選び、決定を押す
- ⑥ USB-HDD を取り外す

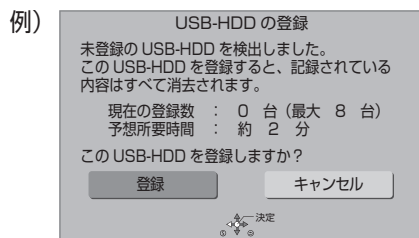


登録する

USB-HDD を使用する場合、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。

登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、手順 5 に進んでください。



- 1 初期設定 (ふた内部) を押す
- 2 「HDD/ディスク/USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す
- 3 「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す
- 4 「USB-HDD の登録」を選び、決定 を押す
- 5 「登録」を選び、決定 を押す
- 6 決定 を押す

お知らせ

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録番号は録画一覧で確認することができます。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。

9 台目の USB-HDD を接続し、本機の電源を入れたとき、USB-HDD の登録画面が表示されます。



- 1 「はい」を選び、決定 を押す
- 2 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、決定 を押す
- 3 「実行」を選び、決定 を押す
- 4 「登録」を選び、決定 を押す
- 5 決定 を押す

すべての USB-HDD 登録を取り消す

本機に登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。

USB-HDD や本体を廃棄や譲渡する場合などに行ってください。

「USB-HDD の取り外し」(→152) を行ったあと、実行してください。

左記手順 1 ~ 3 のあと

- 4 「すべての USB-HDD 登録の取り消し」を選び、決定 を 3 秒以上押す
- 5 「はい」を選び、決定 を押す
- 6 「実行」を選び、決定 を押す
- 7 決定 を押す

お知らせ

- 登録を取り消した USB-HDD の内容は、再度登録しても再生できなくなります。

USB 機器について

接続できる USB 機器について

以下の USB 機器と接続することができます。

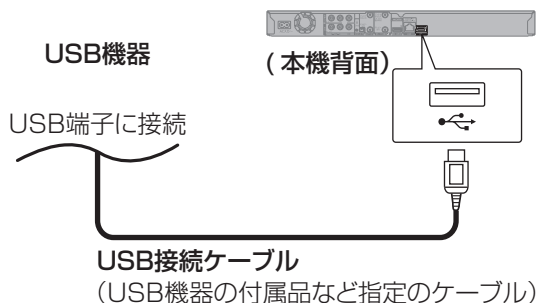
- AVCHD 対応ビデオカメラ
 - SD ビデオカメラ
 - デジタルカメラ
 - 携帯電話
- 上記以外の USB 機器 (USB メモリー、USB リーダー & ライター、USB 電源を利用する機器など) については動作保証しておりません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合や USB 端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画 (AVCHD、MP4、MPEG2) の取り込み (→95 ~ 97)
- 録画した番組の持ち出し (→114)
- 写真の再生 (→104) や取り込み (→107)


USB 機器を接続する



接続した機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。(機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合があります)

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

本体表示窓の “” (→17) 点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB 接続ケーブルを抜いたりしないでください。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

- ① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDDの回転が完全に止まってから（3分程度待つてから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

本機の移動やお手入れなどをするときには、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「個人情報リセット」(→131)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行います。修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼される時にご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDDをお使いになっていた場合、本機の修理過程においてUSB-HDDの登録が取り消される場合があります。

再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

取り扱いについて (続き)

HDD (ハードディスク)・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング (バックアップ) を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容 (データ) の修復はできません。

ディスク、カード

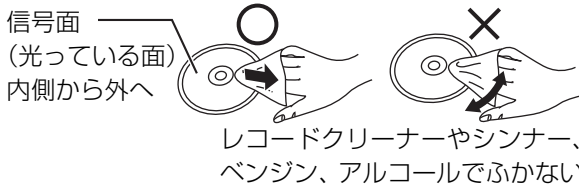
持ち方



信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

●ディスクに汚れや傷が付いている場合、記録や再生ができなくなりますのでお気をつけください。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ず守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
 - ・シールやラベルを貼らない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
 - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
 - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
 - ・以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



●カード

・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ (大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

接続

158 ページ

接続の前に

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
(本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください)
- 各機器の説明書もご覧ください。

設定

173 ページ

設定終了後に

「かんたん設置設定」「かんたんネットワーク設定」を行ったあと、以下の場合は、指定の設定を行ってください。

放送が受信できない

ふだん見ている番組が見られない場合 ▶ 「チャンネル設定」を修正 (→134)

放送の映りが悪い

アンテナの入力レベルが正常か確認する場合 ▶ 「受信アンテナ設定」を確認 (→132)

電波が強すぎて映像が不安定になる場合 ▶ 「アッテネーター」を切り換える (→132)

リモコンを使うと他機器が同時に動作する

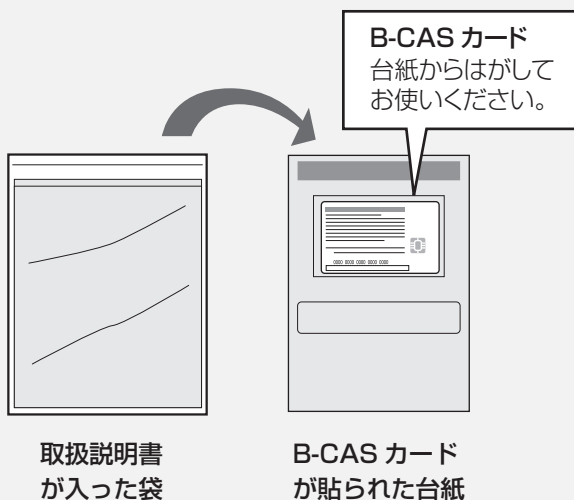
複数の当社製機器を使う場合 ▶ 「リモコンモード」(→144)

接続1 B-CAS (ビーキャスト) カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのB-CASカード(付属)の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

- B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

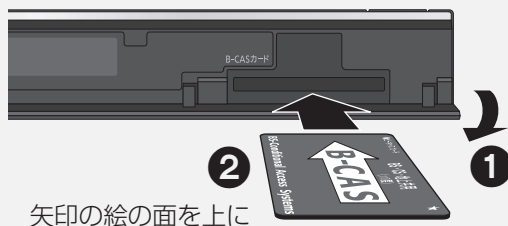


- B-CASカードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。
- 本機でも番号を確認できます。(→128)

お問い合わせは(紛失時など)
(株)ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL: 0570-000-250

挿入/取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、B-CASカードを奥まで差し込む



お知らせ

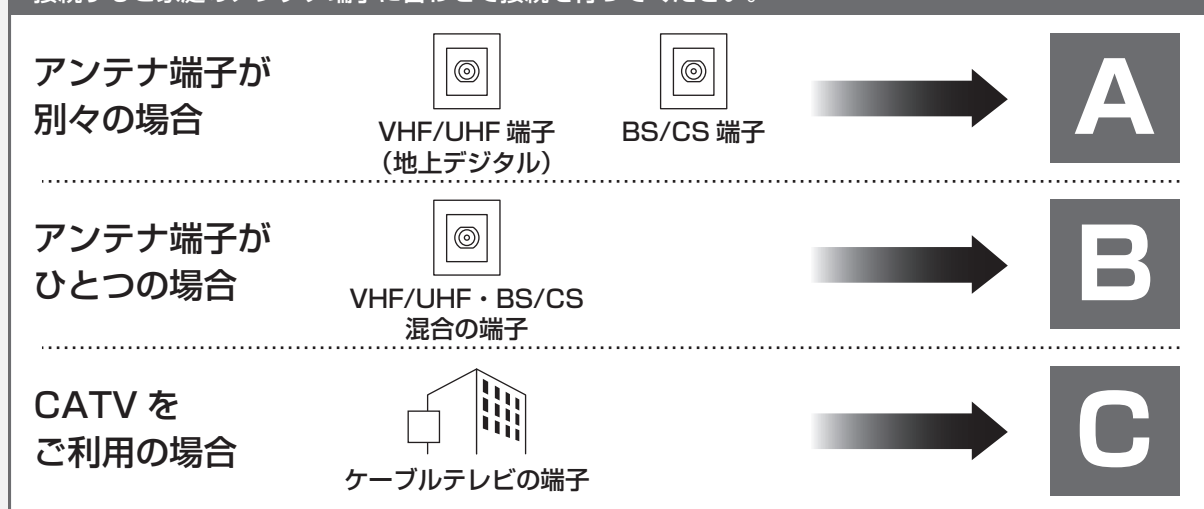
- カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、引き抜いてください。
- B-CASカード以外は絶対に挿入しないでください。

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

●すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでください。

電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

接続するご家庭のアンテナ端子に合わせて接続を行ってください。



上記の接続では、テレビと本機の接続は、HDMI ケーブル（市販）を使用した接続を紹介しています。

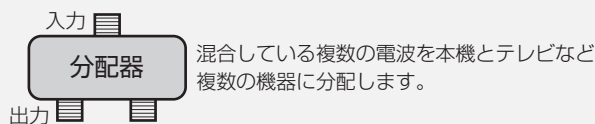
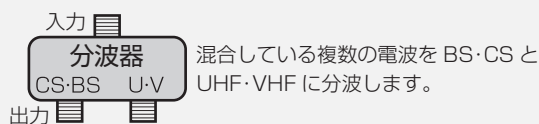
HDMI ケーブルで接続すると、高画質・高音質の映像と音声で楽しむことができます。さらに、Wooo リンク機能（→110）に対応した当社製テレビ（Wooo）と接続すると、連動操作が可能になります。

3D 映像を楽しむには…
3D 対応テレビとの接続は HDMI 端子を使用してください

映像端子 でテレビと接続する場合は **165** ページ

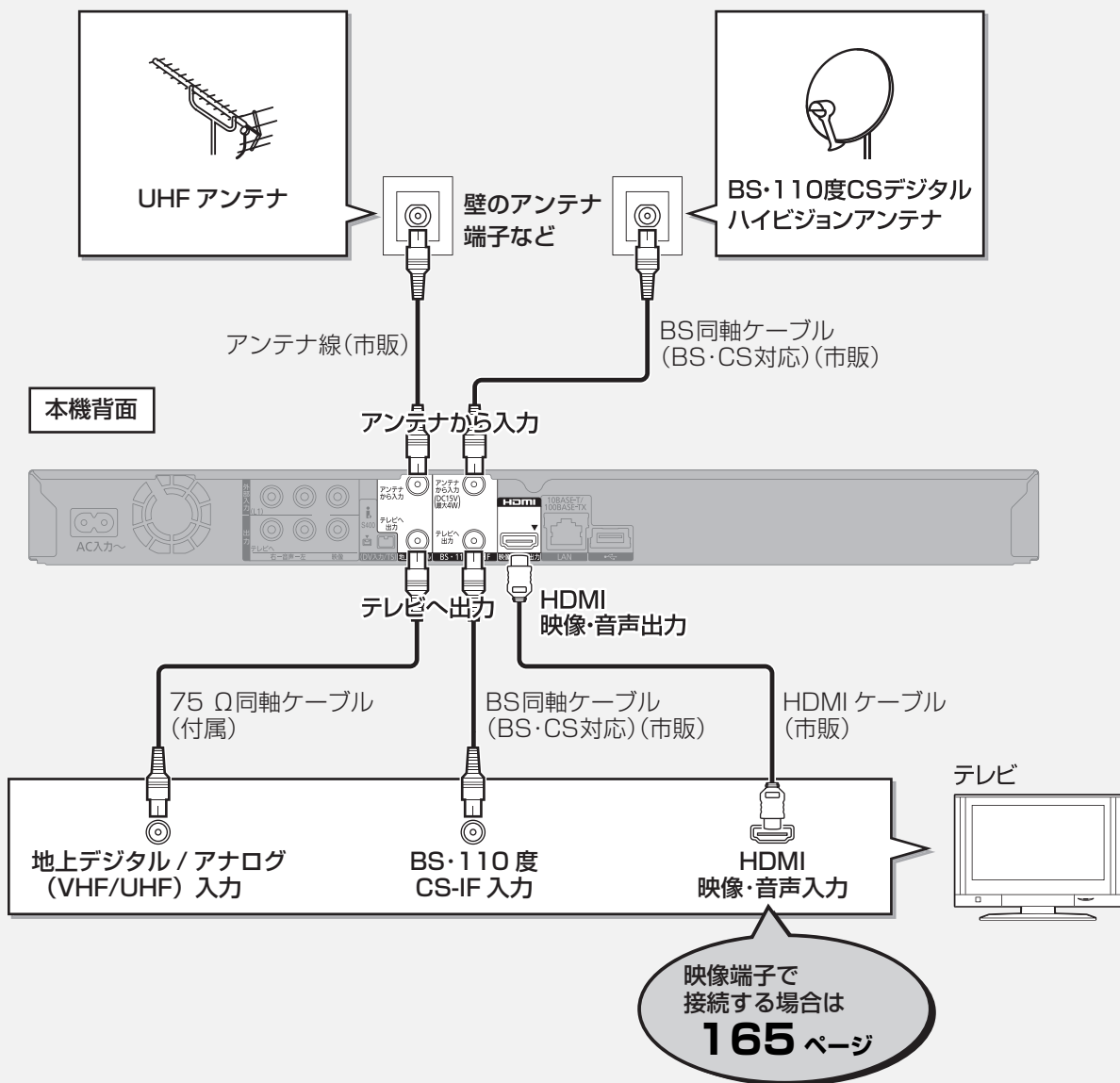
お知らせ

- アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをお勧めします。F 型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビに BS・110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- HDMI ケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。
- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど市販の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



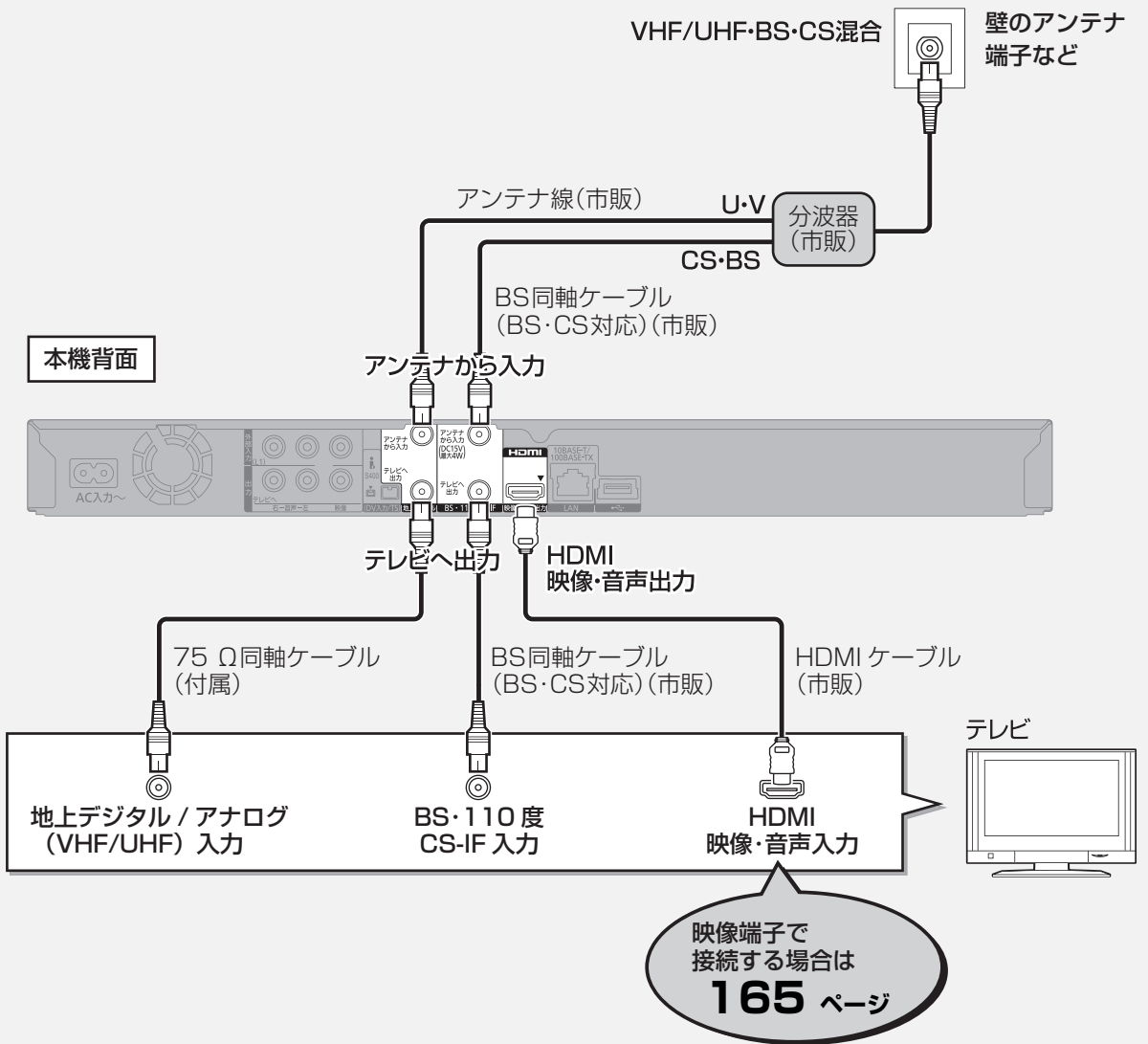
A

アンテナ端子が別々の場合



B

アンテナ端子がひとつの場合



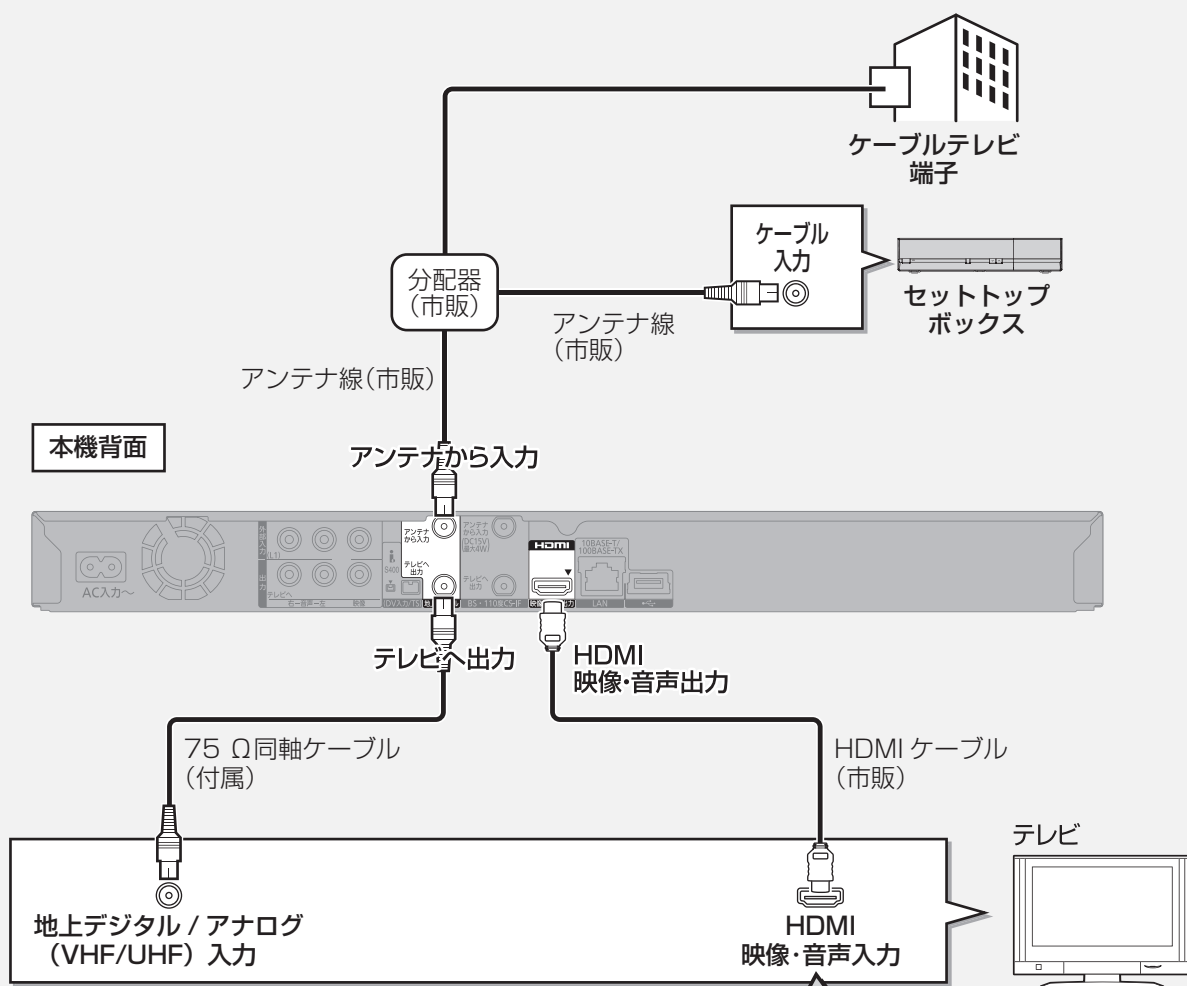
C

CATV (ケーブルテレビ) を利用している場合

CATVの接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約のCATV会社にご相談ください。

このページでは、CATVの地上デジタル放送の信号方式がパススルー方式*の場合の接続を紹介しています。

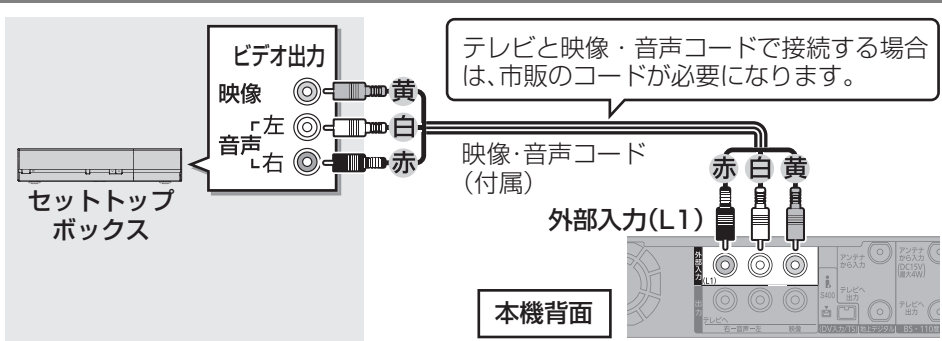
* CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。



- BS・CS デジタル放送を録画するには
BS・CS デジタル放送を録画できる衛星アンテナをBS・110度CS-IF 入力端子に接続するか、163ページの接続を行ってください。

映像端子で接続する場合は
165 ページ

パススルー方式でない場合や、パススルー方式でも本機で受信できない放送を録画するためには、下記の接続が必要です。

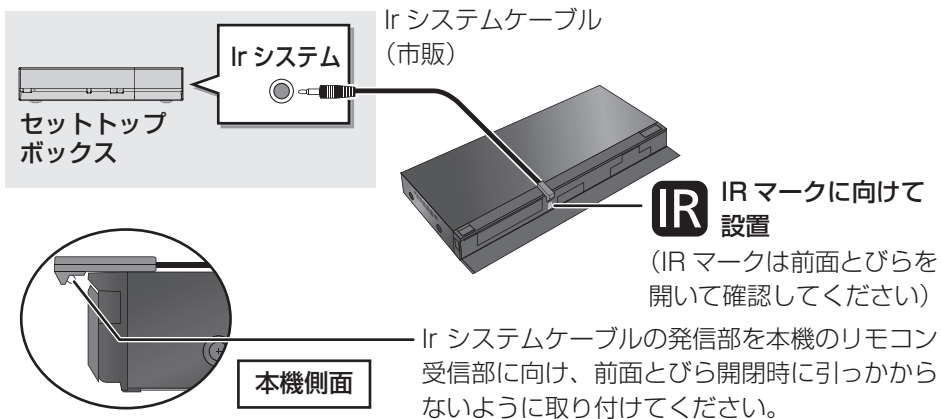


CATV から連動して予約録画するために

映像・音声コード
で接続する

上記接続に加えて、Ir システムの接続をすると、CATV から予約録画の信号を本機のリモコン受信部に送り、連動操作することができます。(CATV のIrシステムがブルーレイディスクレコーダーに対応していない場合、予約録画できません)

Ir システムケーブルの設置例



i.LINKケーブルで
接続する

- ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。(→91)
- セットトップボックスが i.LINK 対応していない場合、予約録画できません。
- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。

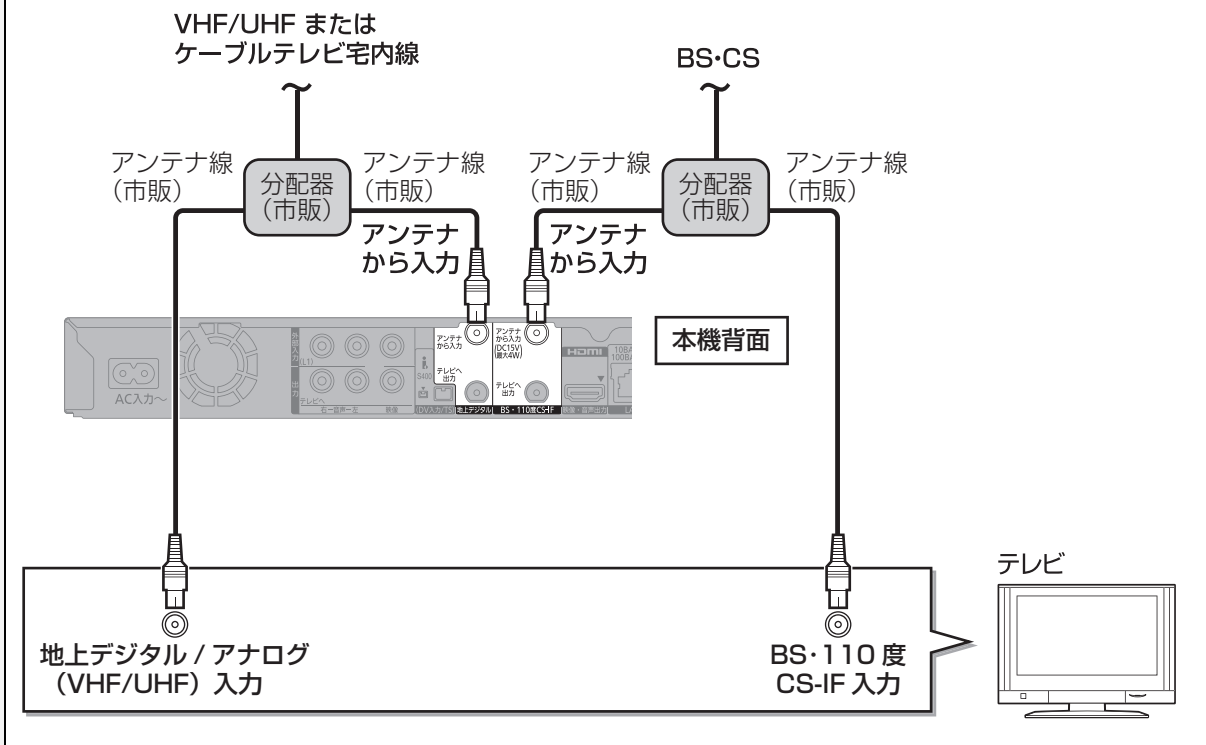


本機がエコ待機時にテレビを視聴する場合

エコ待機で電源を切る (→25) と、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。

ただし、**A B C** の方法でアンテナ接続した場合、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなる場合があります。[「エコ待機モード」(→137) が「モード2」のとき]

エコ待機を使用してテレビの映像を映るようにするには、以下のようにアンテナ接続をしてください。

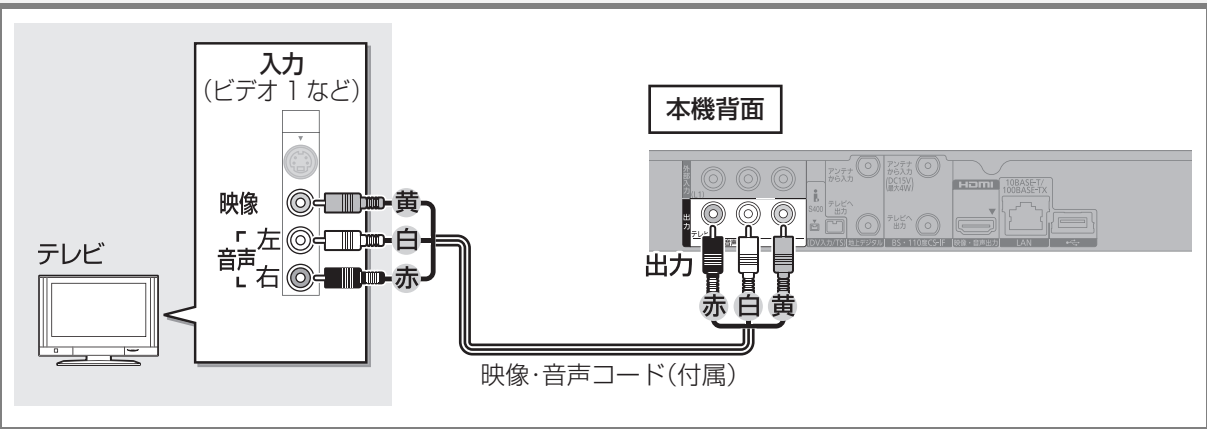


お知らせ

- 分配器を使って本機とテレビにBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。

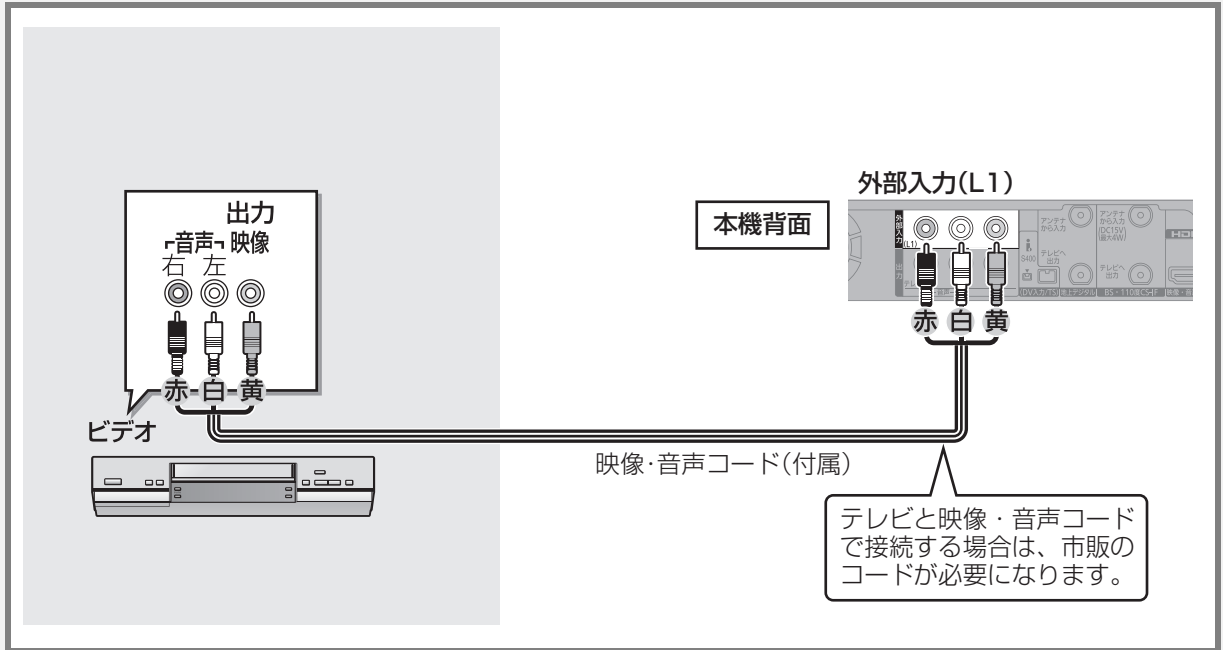
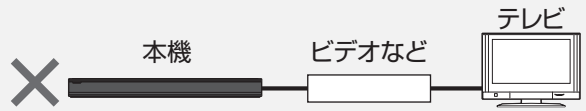
映像端子でテレビと接続する

以下の端子を持つテレビに対応しています。



接続3 ビデオと接続する

- 本機とテレビの間に、他のビデオやセレクトターを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。

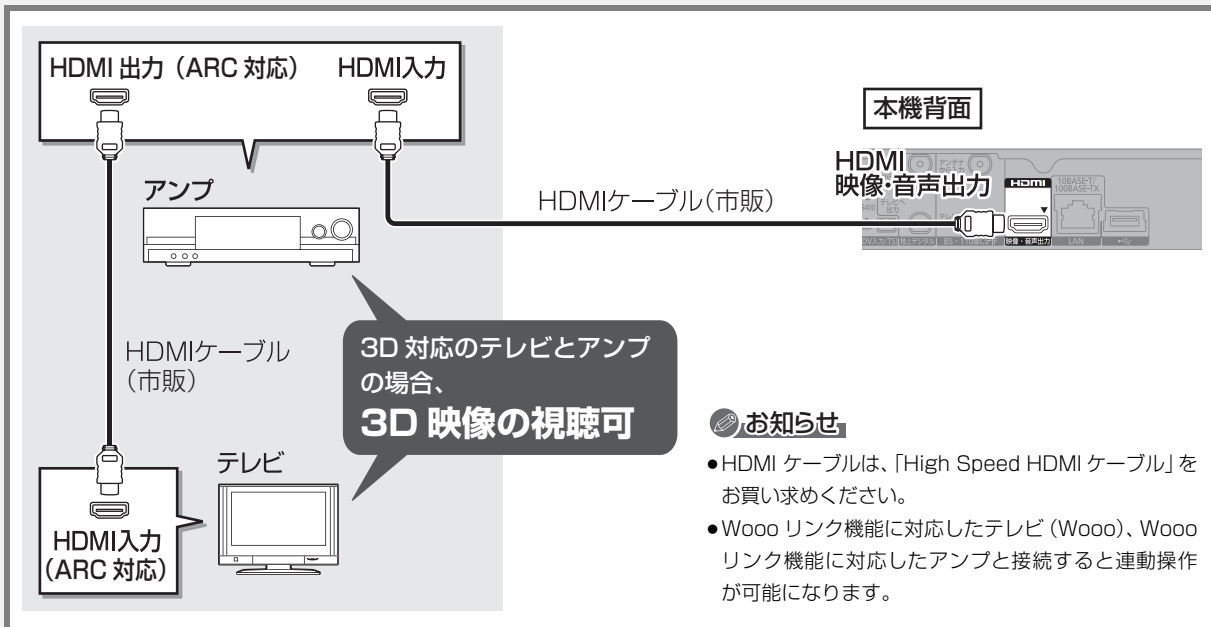


接続4 アンプと接続する

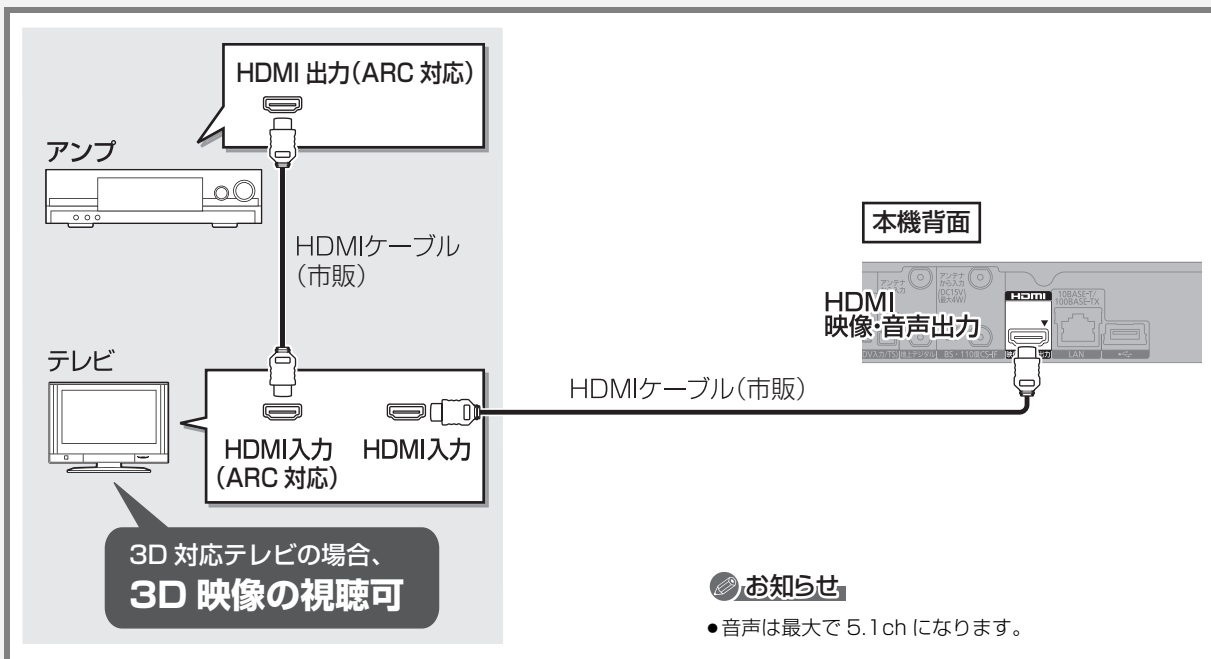
アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

🔗 デジタル出力される音声と接続・設定の関係 (→209)

HDMI 端子で接続する



3D 非対応のアンプと接続して 3D 映像を視聴するには



🔗 お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

接続5 ネットワーク接続をする

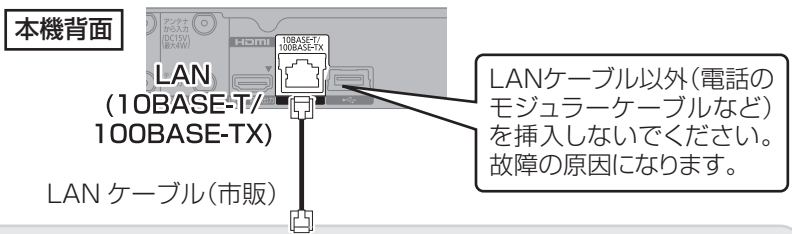
本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
接続後は、かんたんネットワーク設定 (→175 ~ 176) を行ってください。

アクトビラを楽しむ インターネット使用	アクトビラのサービスなどを楽しむことができます。(→116 ~ 118) ●アクトビラについて詳しくは下記ホームページをご覧ください。 http://actvila.jp/
1カ月の番組表や 注目番組を受信する インターネット使用	1カ月の番組表や注目番組を受信できるようになります。 (2012年2月現在、1カ月の番組表は WOWOW、スター・チャンネル、注目番組は NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみ対応)
BD-Live 対応の ディスクを楽しむ インターネット使用	特典映像の再生などさまざまな機能を楽しむことができます。(→69)
デジタル放送の 情報サービスの利用 インターネット使用	デジタル放送のさまざまな情報配信サービスを利用できます。
スカパー!HD 録画	スカパー!HD 対応のチューナーからハイビジョン番組をそのままの画質で録画できます。(→103)
AV ネットワーク 機能を使う	DLNA 対応機器から本機の HDD にある番組などを再生することができます。また、本機から DLNA 対応機器の HDD にある番組などを再生することができます。(→122)
ネットワークを使っ てダビングする	HDD 内蔵の当社製テレビ (Wooo) やセットトップボックスなどの HDD に録画した番組を、本機の HDD にダビングすることができます。(→102)

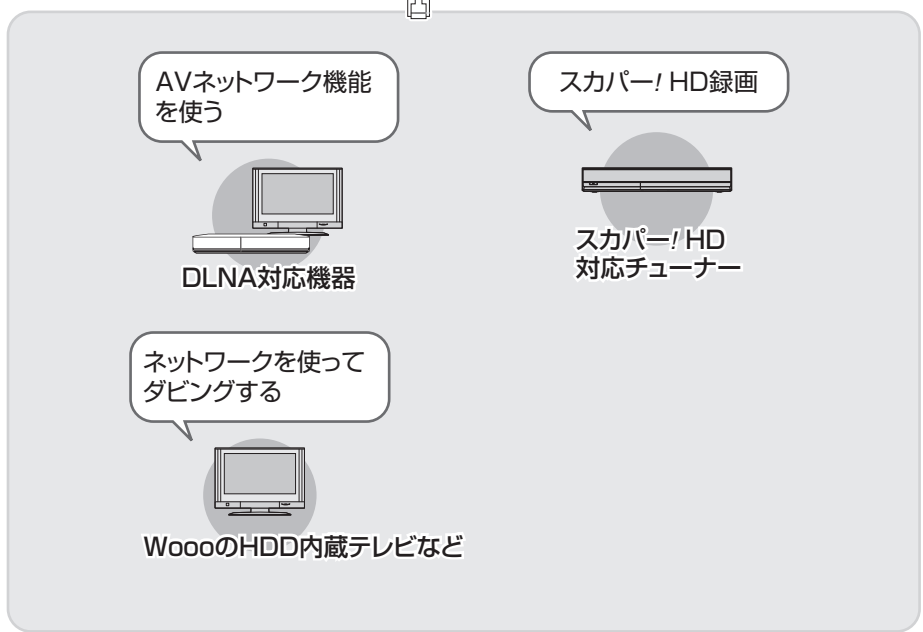
お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリ 5 (CAT5) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター (アクセスポイント) に接続してください。

以下の機器を接続する場合、本機とLANケーブルで直接接続することもできます。
 (LANケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません)



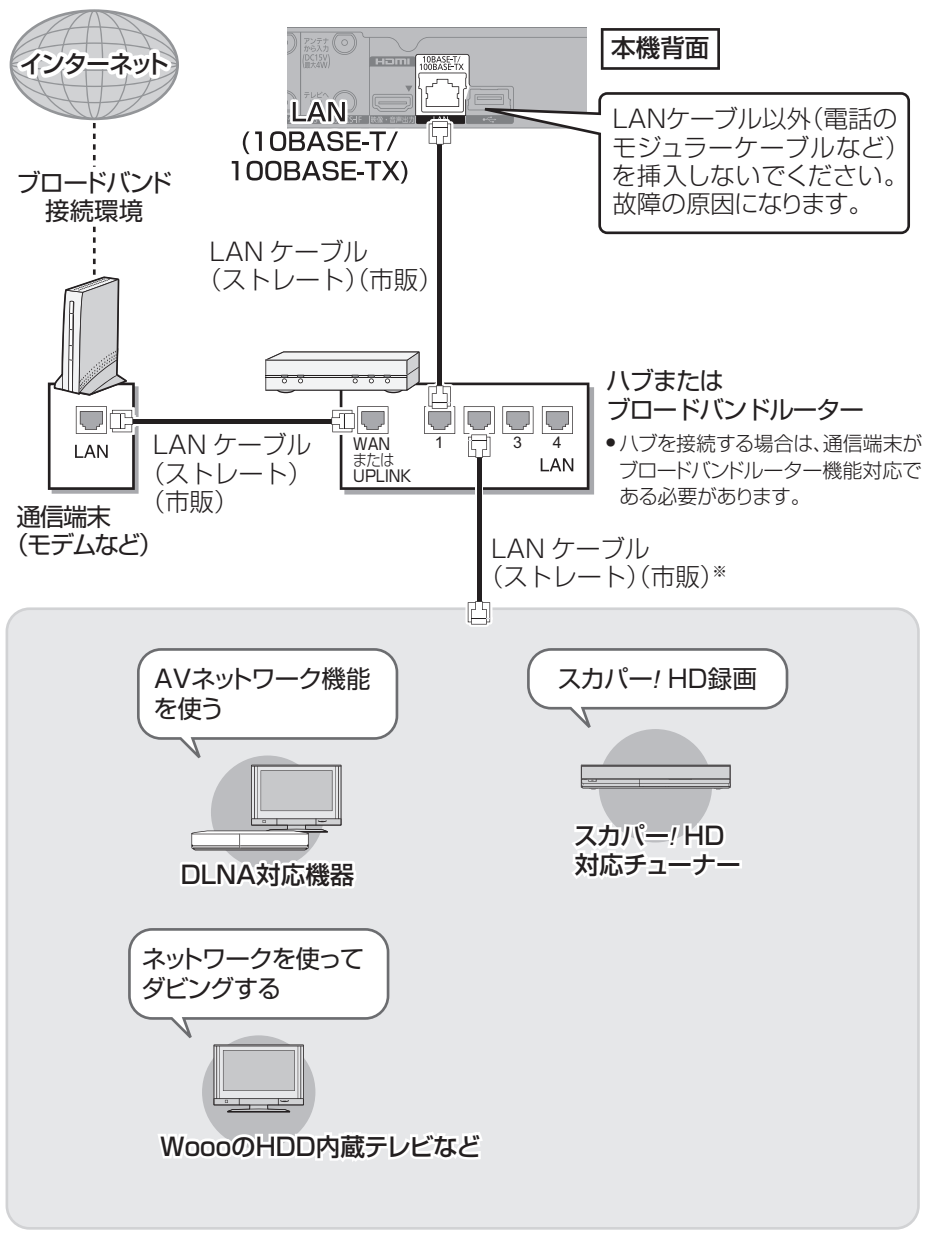
LANケーブルを使って各機器と直接接続する



- インターネットを使用するサービスや機能は、この接続では利用できません。
 170ページの接続を行ってください。

接続5 ネットワーク接続をする (続き)

ハブまたは
ブロードバンド
ルーターを使って
LAN ケーブルで
接続する



※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

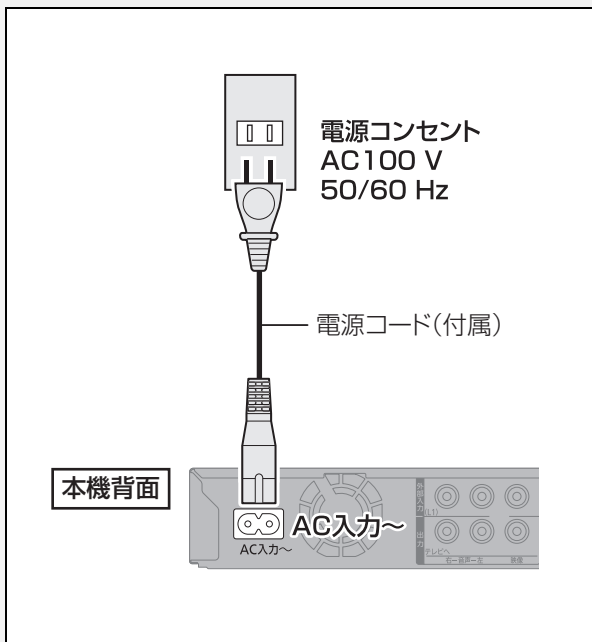
- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 100BASE-TX 対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。
- 必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターに接続してください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。



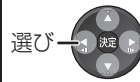
⚠ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。(電源「切」時の消費電力→204)

- 電源コードを抜いている場合：
 - ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得(→136)はできません。
 - ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

設定1 かんたん設置設定をする

基本操作



選び

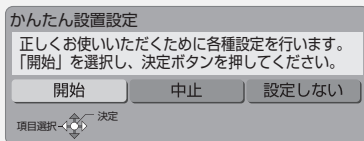


決定する

初めて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

1 リモコンの  を押す

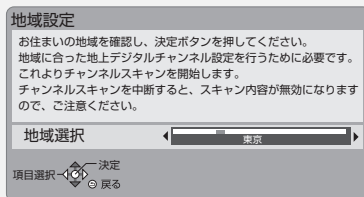
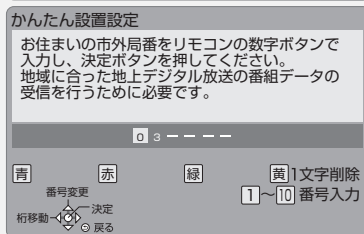
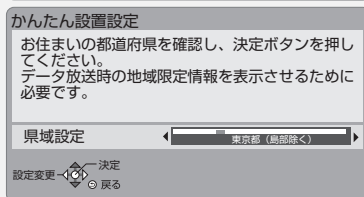
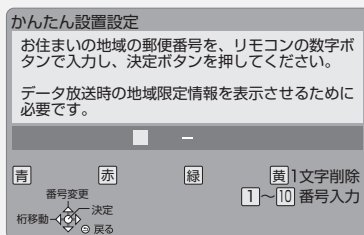
2 「開始」を選び、 を押す



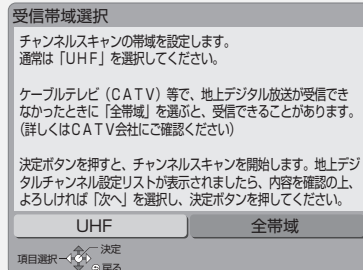
画面の指示に従って設定を行ってください。

地域設定

お住まいの地域の郵便番号、都道府県、市外局番を設定します。

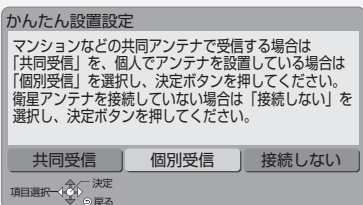
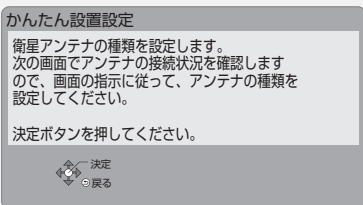


地上デジタル放送チャンネルの設定



ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する/確認する」を選んでください。(→135「マニュアル」)

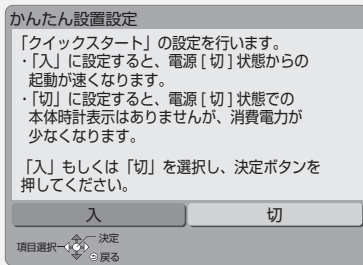
衛星アンテナ設定



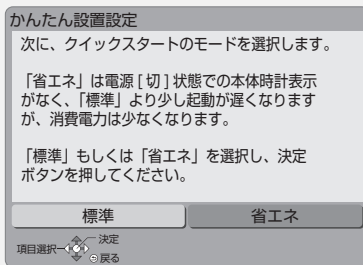
「個別受信」を選んだ場合は、テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側で衛星アンテナの電源を「入(オン)」にする設定をしてください。

接続
設定

クイックスタートの設定



「入」を選んだ場合、「標準」または「省エネ」を選んでください。



クイックスタートとは

電源「切」状態からの起動を高速化します。

- テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。

ただし、「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。

- 待機時消費電力が増えます。
- 本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、【電源 〇】以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。)
- 内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
- クイックスタートモードを「標準」に選んだ場合、テレビとHDMI端子で接続時は、テレビの無信号自動オフ機能が働かないときがあります。

かんたん設置設定終了後、引き続き「かんたんネットワーク設定」(→175)を行うことができます。

かんたん設置設定をやり直す

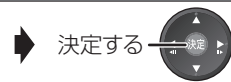
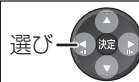
引っ越しをした場合や、設置後テレビ受信ができない場合など、以下の手順でかんたん設置設定をやり直すことができます。

- 1 **スタート** を押す
- 2 **「放送設定」** を選び、**決定** を押す
 - 表示がない場合は **[◀◀][▶▶]** でページを切り換えてください。
- 3 **「かんたん設置設定」** を選び、**決定** を押す

お知らせ

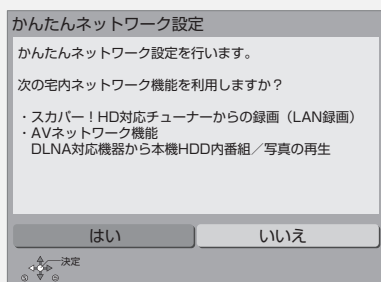
- デジタル放送を受信できない場合、「かんたん設置設定」終了後、時刻合わせを行ってください。(→136)
- テレビに映像が映らない場合は
 - ・テレビの入力を確認してください。(→25「本機の映像をテレビに映す」)
 - ・接続を確認してください。(→158～172)
 - ・テレビのHDMI端子に接続している場合は、以下の操作を行うと映像が映ります。
 - ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に5秒以上押す
 - ・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
 - ② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで、**▶** を数回押す
 - ③ **【決定】** を3秒以上押す

設定を中止するには
【戻る】 を押す

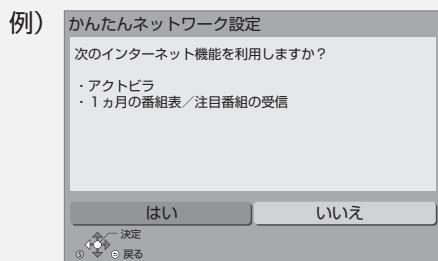


「かんたん設置設定」(→173～174)のあと
または
「かんたんネットワーク設定をやり直す」(→176)の
あと

1 「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

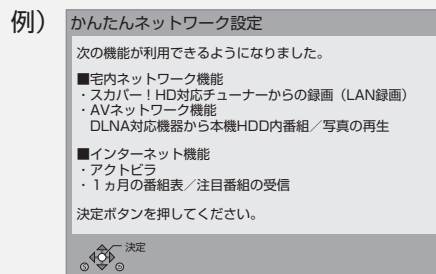


2 「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す



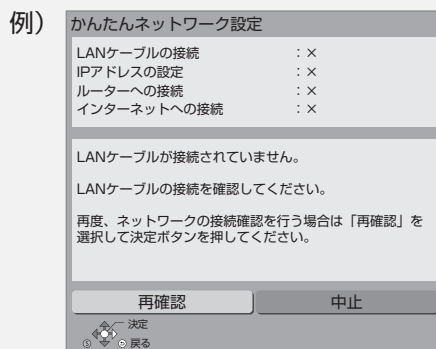
接続を確認する

左記手順2のあと、接続確認を行います。



ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。



画面の指示に従って設定を行ってください。

お知らせ

- 宅内ネットワーク機能を利用する場合、ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「AV ネットワーク / スカパー！HD 録画設定」(→146)を行ってください。
- 宅内ネットワーク機能を利用する場合、クイックスタートが自動で「入」に設定されるため、待機時の消費電力が増えます。

「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続：× IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	LAN ケーブルの接続 (→170)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (→142)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (→142)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました (B020)」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」(→142) やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません (B019)」表示時 ●「プライマリDNS」、 「セカンダリ DNS」の設定 (→142) ●ルーターなどの設定

- インターネット機能をご利用にならない場合、「ルーターへの接続」「インターネットへの接続」は「-」が表示されます。

かんたんネットワーク設定をやり直す

以下の手順でかんたんネットワーク設定をやり直すことができます。

- ① 初期設定 (ふた内部) を押す
- ② 「かんたんネットワーク設定」を選び、**決定** を押す (→175 手順 1 へ)

お知らせ

- かんたんネットワーク設定をやり直すと、スカパー!HD の登録済みの予約は、正しく実行されなくなる場合があります。設定前に、登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。



地上デジタル放送 (地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

- 本機ではワンセグ放送を録画できます。(→112)
ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。(お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります)

BS デジタル放送 (BS デジタル)

放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送 (CS デジタル)

通信衛星 (Communications Satellite) を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー! e2」には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先

「スカパー! e2」カスタマーセンター

0570-08-1212 (ナビダイヤル)

(携帯電話・PHSの方は、**045-276-7777**)

受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)

「スカパー! e2」公式ホームページ

<http://www.e2sptv.jp/>

📢お知らせ

- B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位でのご契約となります。テレビの B-CAS カードでのご契約いただいている場合でも、本機付属の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。





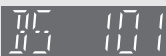




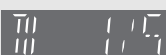



こんな表示が出たら

表示文字	調べるところ・原因・対策
<p>アドレスが正しく設定されませんでした。</p> <p>接続テストを実行できませんでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一度、電源を「切」にし、電源コードを抜き差しして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>接続できませんでした。LANケーブルの接続を確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハブをお使いの場合で、ハブの Link ランプが消えているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル(誤ってクロスケーブルを使用)などを確認してください。
<p>接続に失敗しました。ゲートウェイが応答しません。ルーターとの接続や設定をご確認ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ハブの UPLINK ポートの Link ランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル(誤ってクロスケーブルを使用)などを確認してください。 「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」(→142)で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。 無線 LAN 対応のアクセスポイントをご使用の場合、アクセスポイントの通信設定をご確認ください。設定について詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。本機の MAC アドレスが必要な場合は、「ネットワーク通信設定」(→142)を表示してご確認ください。
<p>IP アドレスが取得できません。ルーターとの接続や設定をご確認ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ハブの Link ランプが点灯しているか確認し、消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル(誤ってクロスケーブルを使用)などを確認してください。 上記で問題がなければ、ルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも 1 つの方法です。
<p>IP アドレスが設定されていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」(→142)で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください)
<p>IP アドレスの重複を検出しました。設定をご確認ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。他のパソコンや、本機、ルーターの IP アドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。















ネットワーク設定や接続テスト時

	表示文字	調べるところ・原因・対策
通信時	サーバーへの接続に失敗しました。(B020)	<ul style="list-style-type: none"> ●サーバーが混み合っているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●まったく接続できない場合は、「プロキシサーバー設定」(→142)やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
	サーバーとの通信に失敗しました。(B021)	●通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われる。しばらく待って再度実行してください。
	認証に失敗しました。(B401)	●回線業者やプロバイダーからのIDやパスワードを、ブロードバンドルーターやモデムの説明書に従って、正しく設定してください。









こんな表示が出たら (続き)

表示文字 (数字は例)	調べるところ・原因・対策
	<ul style="list-style-type: none"> ●以下の場合に点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア更新のデータ蓄積中 ・HDD の番組の録画モード変換中 ・持ち出し番組作成中 “D” 点灯中に電源を「入」にすると、上記の処理は中止されます。次回、電源「切」時に処理が実行されます。
	<ul style="list-style-type: none"> ●番組のダウンロード中です。
	<ul style="list-style-type: none"> ●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。時刻を合わせてください。 ●デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	<ul style="list-style-type: none"> ●ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。(例:61 パーセント)
	<ul style="list-style-type: none"> ●現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルです。(例:101 チャンネル)
	<ul style="list-style-type: none"> ●B-CAS カードが正しく挿入されていません。正しく挿入してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●現在選んでいる CS1 放送のチャンネルです。(例:001 チャンネル)
	<ul style="list-style-type: none"> ●現在選んでいる CS2 放送のチャンネルです。(例:100 チャンネル)
	<ul style="list-style-type: none"> ●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。(例:011 チャンネル)
	<ul style="list-style-type: none"> ●オンエアダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5 などはダウンロードの進行状況です)
	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、DV 入力選ばれています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、外部入力選ばれています。(例:L1)

本体表示窓

表示文字	調べるところ・原因・対策
	●スタートメニュー表示中です。
	●インターネットや宅内ネットワークに接続中です。
	●HDDの録画や再生中などに[開/閉 ▲]を押したとき、未ファイナライズの -R(AVCREC) -R(V) -RW(V) が入っている場合に表示されます。 ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。
	●以下の場合、[ワンタッチ予約 録画 ●]を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中 ・外部入力や i.LINK(TS) 入力に接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中
	●写真一覧表示中です。
	●終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されま す。表示が消えれば使えます。
	●「新番組おまかせ録画」や関連番組まとめて予約以外の予約が 128 件登録 されています。 不要な予約を消してください。
	●写真のスライドショー再生中です。
	●持ち出し番組一覧表示中です。
	●現在、i.LINK(TS) 入力選ばれています。
	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っ ています。 ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。 ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。 本機に対応したディスクをお使いください。
	●録画一覧などを表示中です。

こんな表示が出たら (続き)

表示文字	調べるところ・原因・対策
 1～6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> ●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 ●表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままにしてください。 ●4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店やお客様ご相談窓口にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB機器接続時に異常が発生しました。接続したUSB機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店やお客様ご相談窓口にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本機が正常に動作しません。本体の[電源 0/1]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店やお客様ご相談窓口にご相談ください。
 (数字の00は例です)	<ul style="list-style-type: none"> ●異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります） 電源を一度、切/入してください。

本体表示窓

- 上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
- 上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「エコーセンター」(→223)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などお知らせください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」(→223)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音(ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- 電源切/入時の音
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
- BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
- 以下の状態のときに、本機から HDD の動作音が聞こえる場合があります。
 - ・ 電源切/入時
 - ・ 番組表データを受信中
 - ・ ソフトウェア更新中または番組のダウンロード中
 - ・ 録画中
 - ・ 録画モード変換時、持ち出し番組作成時
 - ・ 「家じゅう録画一覧設定」(→143)の「自動更新」の「入」時
 - ・ 予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に一度程度)の、本機全体の自動再起動時本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
 - ① 本体の [電源 〇/I] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。

[電源 〇/I] を
3秒以上押す



(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

- ② 本体の [電源 〇/I] を押し、電源を入れる
上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないことがあります。(→187)

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

- ① [スタート] を押す
 - ② 「メール/情報・診断コード」を選び、[決定] を押す
 - 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。
 - ③ 「診断コード」を選び、[決定] を押す
 - ④ [黄] を5秒以上押す
 - ⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す
 - 診断を開始します。
- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

例)

機種名 : DVL-BRT12	ソフトウェアバージョン : 1.00
診断コード	
0000 0000 0000 0000	
本機の状態を番号で表示しています。	
お電話でのお問い合わせのときに、本機の状態を把握し適切な対応させていただくために、上記コードをお聞きすることがあります。故障と思われる場合、詳細診断を行うことができます。リモコンの黄ボタンを5秒以上押ししてください。	

診断結果

BDドライブ	: 異常は見つかりませんでした。
HDD	: 異常は見つかりませんでした。
USB+HDD	: 異常は見つかりませんでした。
その他	: 異常は見つかりませんでした。
コード	: 0000-0000-0000-0000

診断の結果、異常は見つかりませんでした。症状が続く場合は、お買い上げ販売店もしくは修理ご相談窓口へご相談ください。

電源ボタンを押して、詳細診断を終了させてください。再起動の後、テレビ視聴画面へ戻ります。

この画面を表示中は、予約録画が実行されません。

電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の【電源 0/I】を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源〔切〕」(→136)やWoooリンクの電源オフ連動(→111)の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

本体

本機が熱い

- 本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
 - ①【決定】と【青】と【黄】を同時に5秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
 - ② 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで【▶】を数回押す
 - ③【決定】を押す
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

表示

表示が出ない 表示が暗い

- 「本体表示窓の明るさ」(→140)で明るさを変えてください。
- 以下の場合、本機の電源「切」時は表示されません。
 - ・「クイックスタート」(→136)を「切」に設定
 - ・「クイックスタートモード」(→136)を「省エネ」に設定
 - ・【エコ待機】を押して電源を切る

“録画1”、“録画2”または“LAN録画”が 点滅している

- 以下の場合、点滅します。
 - ・予約録画の開始時刻の約3分前から開始時刻までの間
 - ・アンテナ抜けや電波が弱くて正常に録画できないとき
 - ・B-CASカードが抜けて録画できないとき
 - ・HDDの残量がなくて録画できないとき
 - ・スカパー!HD対応のチューナーから信号が受信できなくて録画できないとき

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- R** 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

- 選択している録画モードによって、残量表示が異なります。選択した録画モードの残量を確認したい場合は、【録画モード】を押して、確認したい録画モードを選んでください。
- DRモード選択時の残量は、予約確認画面などでは、放送に合わせて17Mbpsまたは24Mbpsの転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24Mbpsの転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。

スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

- スタート画面の「全機能から選ぶ」で「設定する・その他の機能」を選び、「お好み設定リセット」を行ってください。(→30)

テレビ画面や映像

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

- アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 以下の場合、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
 - ・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき(→173)
 - ・「アンテナ電源」を「入」にしているとき(→129)
- 「アンテナ出力」(→129)を「入」にする。「切」の場合、本機の電源「切」時にBS・110度CSアンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送を視聴できません。
- 一度「アッテネーター」(→132)の設定を切り換えてみてください。
- エコ待機で電源「切」時は、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなる場合があります。本機を経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。(→164)

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなって、アンテナレベル不足の表示が消えない

- 「かんたん設置設定」(→174)をやり直してください。

画面の上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される
画面の横縦比がおかしい

- 「画面モード切換」(→33)で調整してください。(テレビのアスペクト設定でも調整できます)
- 「TVアスペクト」(→140)の設定を接続したテレビに合わせてください。

映像が映らない
映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(→158～172)
- HDMI端子接続時：
 - ・HDCP(不正コピー防止技術)に対応した機器(パソコンのディスプレイなど)に接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
 - ・以下の場合、HDMI認証が起こり、黒画面になります。
 - 「24p出力」(→141)が「入」の場合、24p素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
 - 2D映像と3D映像を切り換えたとき
 - ・「Deep Color出力」(→141)もしくは「コンテンツタイプフラグ」(→141)を「切」にしてください。
- 3D映像や24p素材を含む番組を再生時、HDMI端子以外からの映像が映らない場合があります。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。HDMI端子で接続している場合、接続するテレビのHDMI端子を他のHDMI端子に変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

- 「テレビ画面の焼き付き低減機能」(→140)が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

再生時の映像に残像が多い

- 「HDオプティマイザー」(→71)を「切」にしてください。

ボタン操作

リモコンが働かない

- 本体とリモコンのリモコンモード(→144)が異なっていないですか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。



表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]**を3秒以上押し続けたままにしてください。

- リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色付きガラスも含む）などはありませんか。
- テレビ操作部のボタンでテレビを操作する場合、テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(→145)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。リモコンモードを変更してください。(→144)

音声

音声がでない

- ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。
- HDMI端子の接続状態に合わせて、「HDMI音声出力」(→141)を設定してください。
 - ・HDMI端子でテレビと接続し、テレビから音声出力：「入」
 - ・HDMI端子でテレビと接続し、HDMI端子以外で接続したアンプなどから音声出力：「切」
- Dolby Digital PlusまたはDolby TrueHDなどの音声出力されなくなった場合は、本機の内部設定が自動的に切り変わった可能性があります。その場合は、一度、「初期設定リセット」(→137)を行ってください。

片方のスピーカーからしか音声がでない

- スピーカーの接続を確認してください。
- 5.1ch マルチ音声を再生する場合、「ダウンミックス」(→139)を「ドルビーサラウンド」にしていると、モノラル音声になります。「ノーマル」に変更してください。

音声が切り換えられない

- 以下の場合、音声の切り換えはできません。
 - ・マルチ音声の番組を **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** にXP、SP、LP、EP、FRモードで予約録画する
 - ・外部入力やDV入力から **-R(V)** **-RW(V)** に記録する
- MP4** 音声の切り換えはできません。
- アンプと接続している場合、アンプ側で切り換えてください。
- ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

- 「受信アンテナ設定」(→132)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合は、以下をお試しください。
 - ・「アッテネーター」(→132)の設定を切り換える。
 - ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す。
- 集合住宅の共聴システムやCATVの場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約のCATV会社にお問い合わせください。
- 受信環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

BS・110度CSデジタル放送が受信できない 映像や音声がでない、または映りが悪くなった

- BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナやアンテナ線、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来のBSアンテナでは受信できない場合があります。
- 「受信アンテナ設定」(→133)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
- BS・110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、画質、音質が少し悪くなる場合があります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
- 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
- アンテナへの電源供給が必要です。
 - ・「アンテナ電源」(→133)を「入」にしてください。
 - ・分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない

- 有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。
- 契約したB-CASカードを挿入してください。テレビ側でのみ有料放送の契約をしている場合は、テレビのB-CASカードを本機に挿入してください。

データ放送が見られない

- 録画中にデータ放送は見られません。

字幕や文字スーパーが出ない

- 字幕や文字スーパーのある番組の場合、「字幕設定」(→130)の「字幕」や「文字スーパー」を「入」にしてください。

番組表

番組表データが受信できない

- 番組表で番組情報を表示させたい局を選んで【決定】を押すと、番組表データを受信できます。
- CATV をご利用の場合、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できない場合があります。詳しくはご契約の CATV 会社にご相談ください。
- お住まいの地域の受信状態に問題がある場合（電波状態が弱い場合など）は、番組表データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。

番組表データが更新されない

- データ受信中に電源を入れたり、本機を使用中等でデータを受信しなかった場合は、更新されません。前回受信したデータが残ります。データ受信時に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に内容を更新します。（データ受信時に電源コードは抜かないでください。電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。）

1ヵ月の番組表や注目番組が受信できない

- ネットワークの接続と設定を確認してください。
- 「通信による G ガイド受信」(→129) の設定を「入」にしてください。

放送局のチャンネルが表示されなくなった

- サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止（プロテクト）の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。（不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください）
- R** 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を約 30 回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外の DVD レコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。

記録したディスクが他の機器で再生できない

- BD-R** **-R** **-RW** ファイナライズしていますか。（→127）
- 1.5～12.5倍録モードの番組を記録したAVCREC方式のDVDや、XP、SP、LP、EP、FRモードの番組を記録したVR方式のDVDの場合、再生する機器が、そのディスクのAVCREC方式やVR方式の再生に対応している必要があります。

録画

録画できない

- ディスクには予約録画のみ可能です。

番組を同時に録画できない

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
 - ・DV入力から録画する場合
 - ・「外部入力(L1)取込」中
 - ・ディスクからHDDへダビング中
 - ・HDDからHDDへダビング(複製)中
 - ・LAN経由(スカパー!HD)の2番組の場合
 - ・Wooリンクを利用して「レコーダー録画開始」を実行しているときは、新たに「レコーダー録画開始」はできません。
 - ・ディスクへ1.5～12.5倍録で録画中は、外部入力から録画することはできません。

予約録画

予約録画ができなかった

- HDDの残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。【予約確認】を押して、予約内容を確認してください。

ディスクに予約録画ができない

- ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。
- 以下の場合、ディスクに予約録画できません。
 - ・**BD-RE** **BD-R** にXP、SP、LP、EP、FRモードで予約
 - ・**RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にDR、XP、SP、LP、EP、FRモードで予約
 - ・**RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** にDR、1.5～12.5倍録モードで予約
 - ・**-R(V)** **-RW(V)** のディスク
 - ・未フォーマットのディスク
 - ・CPRM非対応のDVD
 - ・誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク

BS・110度CSデジタル放送の予約録画ができない

- BS・110度CSデジタルアンテナに電源が供給されていない場合、予約録画は実行されません。アンテナへの電源供給が必要です。
 - ・個別にBS・110度CSデジタルアンテナを設置している場合、「アンテナ電源」(→133)を「入」にしてください。
 - ・分配器を使って本機とテレビにアンテナを接続している場合は、テレビと本機のどちらからでも電源を供給できるように全端子電流通過型の分配器を使用してください。

番組追従機能が働かない

- 時間指定予約では働きません。
- 放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。
- 毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。
- LAN 経由 (スカパー!HD) で録画した場合、チューナーによっては、正しく働かない場合があります。また、**[エコ待機]** を押して電源を「切」にしているときも、正しく働かない場合があります。

CATV から i.LINK 接続で予約録画ができない

- 本機とCATVの接続を確認してください。CATVを2台以上接続すると正しく動作しません。
- 「i.LINK 機器モード設定」(→141)を「TS モード2」にしてください。
- CATV が、i.LINK(TS) が動作する設定になっているか確認してください。
- [エコ待機]** を押して電源を「切」にしているときは、予約録画できません。

CATV から外部入力接続で予約録画ができない

- 本機とCATVの接続を確認してください。
- CATV の設定が正しいか確認してください。
- 「時間指定予約」の場合、予約内容の設定で「放送種別 / チャンネル」を「外部入力1」にしてください。
- Ir システムを使って予約録画する場合、Ir システムケーブルが本機に正しく設置されているか確認してください。また、本機のリモコンの設定 (→144) を、CATV 側の Ir システムのリモコン種別の番号に合わせてください。

再生

録画した番組が見つからない

- 毎日・毎週予約や関連番組まとめて予約で録画した番組は、録画一覧 (まとめ表示) では、まとめて表示されず。**[まとめ]** が付いた番組を選んで、**[決定]** を押すと、録画した番組がすべて表示されます。
- 録画一覧で **[サブメニュー]** を押し「全番組表示へ」を選択すると、まとめ表示が解除されます。
- 「最新録画番組」ラベルを選択すると、最新の録画番組から順に 18 番組までを全番組表示します。
- 視聴制限のある番組は録画一覧に表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

再生できない

- ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。

番組の先頭から再生が始まらない

- 再生を停止すると、停止した位置を記憶します。以下の手順で先頭から再生することができます。
 - ・HDD の場合
 - ① 録画一覧表示中に、番組を選んで**[サブメニュー]** を押す
 - ② 「先頭から再生」を選んで **[決定]** を押す
 - ・ディスクの場合
ディスクトレイを開閉して再生する。(トレイを開けると、停止位置が解除されます)

故障かな!?(続き)

映像が乱れたり、正しく再生されない

- 天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。
- 録画モードや、映像の横縦比などの異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。

なめらかに再生されない (映像や音声が一瞬止まる)

- 以下の場合、なめらかに再生されない場合があります。[「シームレス再生」(→139)を「入」に設定しても改善されません]
 - ・DRモードの番組
 - ・2倍速対応以下のDVDに記録した1.5倍録、1.6倍録、1.8倍録、2倍録モードの番組
 - ・「信号切換」(→70)の「字幕」を「入」にして再生
 - ・シーンの切り換わりや、字幕や音声の切り換え時
 - ・片面2層の **DR** の層の変わり目
- 取り込んだハイビジョン動画など、転送レートの高い動画は、なめらかにスロー再生されない場合があります。

字幕が出ない、切り換えられない

- BDビデオやDVDビデオに字幕が収録され、「字幕情報」(→70)が「入」になっていますか。
- DR、1.5～12.5倍録モードの番組は、「信号切換」(→70)の「字幕」を「入」にしてください。
- XP、SP、LP、EP、FRモードの番組は、「字幕」(→49、70)を「入」にして記録した場合に字幕が表示されます。字幕表示の入/切はできません。

音声言語や字幕言語が切り換えられない

- 「音声情報」、「字幕情報」(→70)ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。

BDビデオやDVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

- 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
 - ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に5秒以上押す(本体表示窓に“00 RET”が表示されます)
 - ② 本体表示窓に“03 VL”が表示されるまで **▶** を押す
 - ③ **【決定】** を押す

3D映像が出力されない

- 本機と3D対応テレビの接続や設定は正しいですか。
- 本機と3D対応テレビの間に3D非対応のアンブを接続していませんか。本機と3D対応テレビを直接接続してください。

3D映像が正しく2D出力されない

- 3Dディスクを再生する場合、「3Dディスクの再生方法」(→137)を「2D再生」に設定してください。
- 3D番組を再生する場合、「3D番組の出力方法」(→140)を「2D」に設定してください。
- サイドバイサイド(2画面構成)などの放送を記録した番組は、2D再生すると2画面で出力されます。

ダビング

ダビングできない

- HDDから **-R(V)** **-RW(V)** へのダビング時、HDDの残量が少なくなるときはダビングできません。HDDの不要な番組を消去してください。
(使用するディスクによっては、HDDの残量が5倍録モードで最大4時間必要な場合があります)
- 市販やレンタルのDVDなどコピー禁止処理された映像はダビングできません。
- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
- 高画質(転送レート約18Mbps以上)の動画を、2倍速対応以下のDVDに取り込むことはできません。
- BD-RE** **BD-R** 番組分割した番組は、HDDにダビングできない場合があります。

高速ダビングできない

- 以下の場合、1倍速でのダビングになります。
 - ・DRモードの番組やLAN経由(スカパー!HD)で録画した番組をDVDにダビングする
 - ・1.5~12.5倍録モードの番組を **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** **-R(V)** **-RW(V)** にダビングする
 - ・ディスクの記録容量を超えてダビングする
 - ・1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録の番組をDVDにダビングする
 - ・**BD-RE** **BD-R** から他機器で記録したXP、SP、LP、EP、FRモードの番組をHDDにダビングする
 - ・**DVD-V** からHDDにダビングする
 - ・録画モードを変更してダビングする
 - ・「AVCHD 3D」の表示がある番組をDVDにダビングする
 - ・XP、SP、LP、EP、FRモードの番組を **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **-R(V)** **-RW(V)** にダビングする

高速ダビングに時間がかかる

- ディスクの倍速対応によってダビング速度が変わります。
- 「高速ダビング速度」(→138)の設定によってダビング速度が変わります。

高速ダビング時の動作音大きい

- 高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、「高速ダビング速度」(→138)を「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。

i.LINK(TS)ダビングができない

- 接続機器が、本機で対応している機器か確認してください。(→101)
- 本機と接続機器の接続を確認してください。
- 「i.LINK機器モード設定」(→141)を「TSモード1」にしてください。
- 接続機器が、i.LINK(TS)が動作する設定になっているか確認してください。
- ダビングの操作は、ダビング元になる機器側で行ってください。

編集

編集できない

- **HDD** 残量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去してください。
- 以下のディスクの場合、編集できません。
 - ・ファイナライズ済みのディスク
 - ・ **AVCHD** のディスク
 - ・他社製機器で記録したディスク
 - ・パソコンで記録したディスク
- 本機では持ち出し番組の編集はできません。

番組を消去しても残量が増えない

- **BD-R** **-R** 消去しても増えません。
- **-RW(V)** 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。途中の番組を消去しても増えません

部分消去の開始点や終了点が設定できない

- 開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。

プレイリストが作成できない

- 本機ではプレイリストの作成はできません。

動画

撮影した動画が再生できない

- SDカードやUSB機器のMPEG2動画またはUSB機器のハイビジョン動画 (AVCHD) は直接再生できません。HDDなどにダビングしてから再生してください。
- **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- 2倍速対応以下のDVDに記録された高画質 (転送レート約18Mbps以上) の動画は、正しく再生できません。

撮影した動画がSDカードからダビングできない

- 本機の電源を切ってからSDカードを入れ直してください。
- パソコンで編集したSDカードは使用できない場合があります。
- **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機に対応していないSDカードは使用できません。

撮影した動画がUSB接続でダビングできない

- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB接続が正しく認識しない (USB機器画面が表示されない) 場合は、USB接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。

撮影した動画がi.LINK接続でダビングできない

- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。
- 「i.LINK機器モード設定」 (→141) を「DVモード」にしてください。
- DVおまかせ取込がうまく働かない場合は、ビデオカメラ側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビングする」を行ってください。(→98)

写真

撮影した写真が再生できない SDカードから取り込めない

- 本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
- パソコンで編集した SD カードは使用できない場合があります。
- 本機に対応していないSDカードは使用できません。

撮影した写真が USB 接続で取り込めない

- 本機とデジタルカメラの接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない (USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、デジタルカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- デジタルカメラ側に SD カードが正しく入っているか確認してください。

撮影した写真の取り込みに時間がかかる

- ファイル数やフォルダの数が多い場合、または写真の解像度が高い場合、数時間かかることがあります。

持ち出し番組

持ち出し番組が作成できない

- ダビングができない番組は持ち出し番組を作成できません。
- HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 録画先が「HDD」以外の場合、持ち出し番組は作成できません。

持ち出し番組が SD カードに転送できない

- SD カードの書き込み禁止スイッチがロックされていませんか。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードの場合、専用のアダプターを正しく装着していますか。
- 本機に対応していないSDカードは使用できません。

持ち出し番組が USB 接続で転送できない

- 本機と接続機器の接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない (USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、接続機器側で正しく設定されているか確認してください。
- 接続機器側に SD カードが正しく入っているか、また SD カードの書き込み禁止スイッチがロックされていないか確認してください。

持ち出し番組が再生できない

- 本機では持ち出し番組の再生はできません。
- 「持ち出し番組の VGA 画質」(→138) を「モード 1(1.5Mbps)」で記録すると再生できない場合があります。その場合は、画質を「モード 2(1.0Mbps)」に設定して、持ち出し番組を作成し直してください。

ネットワーク

アクトビラなどのインターネットサービスが つながらない 動画コンテンツが見られない

- 「DNS-IP自動取得」(→142)が「入」になっていますか。
- アクトビラなどのインターネットサービスをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。
また、アクトビラ・ビデオフルの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー (FTTH) のブロードバンド環境が必要です。
- ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。

AV ネットワーク機能

再生できない(サーバーとして使用する)

- 接続や設定を確認してください。
- 「機器一覧」(→143)で、再生する機器が「許可」になっていますか。
- 再生する機器によっては、録画中の番組や 1.5 ~ 12.5 倍録モードの番組、スカパー!HD の番組、取り込んだハイビジョン動画は再生できません。
- 【エコ待機】を押して電源を「切」にしているときは、再生できません。

再生できない(クライアントとして使用する)

- 接続した機器側で本機が登録されていますか。
- すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

Wooo リンク

















Wooo リンクが働かなくなった

- Wooo リンクが働かなくなった場合、以下の操作をお試しください。
 - ① 本体の【電源 0/1】を約 3 秒間押し続けて電源を切った後、電源を入れ直す
 - ② HDMI ケーブルを抜き差しする
 - ③ 「Wooo リンク制御」(→140)の設定を切 / 入する
- HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどに Wooo リンクが動作しなくなる場合があります。このときは、設定をやり直してください。
- 「送信に失敗しました。接続を確認してください。」のメッセージが出た場合、一度、「Wooo リンク制御」(→140)を「切」に設定してから、もう一度「入」にしてください。

表示マーク一覧

- 本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組内容画面

	テレビ放送(映像+音声)の番組		二重音声信号で、「主+副」の音声の番組
	データ放送の番組		モノラル音声の番組
	番組とは別のデータ放送を行っている番組		ステレオ放送の番組
	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組		5.1ch などのサラウンド放送の番組
	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組		有料放送の番組 (放送会社との契約が必要です)
	複数の映像または音声(マルチ音声)を含んだ番組		視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は4~20才まであります)
	字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組		3D 映像の番組 (番組によっては、表示されない場合もあります)
	番組の映像信号情報 上:画面の横縦比(16:9、4:3) 下:信号方式 (デジタルハイビジョン放送- 1080i、720p) (デジタル標準テレビ放送- 480p、480i)		著作権が保護されているため「録画禁止」の番組

表示マーク一覧 (続き)

予約一覧画面

録画可能

全編の録画が可能な番組

変更可

予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組

番組予約

番組表を使って予約した番組

時間指定

時間指定予約で予約した番組

!

録画できない場合があるときなどに表示されます。**[決定]**を押して、予約内容を確認してください。

重複

予約時間が重なっている番組

リソース終了

毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。

警告

引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組

検索中

時間変更追従を実行中(時間確認中)

毎週

毎日

毎日・毎週予約の番組

月~土

月~金

曜日指定

曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示

毎週更新

毎日更新

毎日・毎週予約で自動更新をする番組(前回録画した内容に上書きして録画します)

月~土更新

月~金更新

録画済

番組表を使って毎日・毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つられずに予約を実行した場合に表示

1.5 ~ 12.5 倍録モードで録画中に DR モードに切り換えて録画した番組(電源「切」時に予約時の録画モードに自動変換します)

お知らせ

1 か月より先の番組予約です。1 か月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。

新番組

「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組

関連番組

関連番組まとめて予約で自動的に予約された番組

注目番組

注目番組一覧から予約した番組

まとめ予約



「注目まとめ予約」で予約した番組

LAN予約



















ネットワークで接続したスカパー! HD対応のチューナーから本機に録画予約した番組

DR切換

1.5 ~ 12.5 倍録モードで録画中に DR モードに切り換えて録画している番組

	HDD の残量が不足していて録画できない番組		HDD がいっぱい録画が中断された番組
	HDD の番組数がいっぱい録画できない番組		録画禁止信号により録画が中断された番組
	予約の実行が「切」になっている番組		ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
	予約録画が実行されなかった番組		録画中の番組
	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組		

録画一覧、写真一覧画面

	新しく録画してまだ見ていない番組		取り込んだ 1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録の番組
	「新番組おまかせ録画」で録画された番組		書き込み禁止(プロテクト)設定した番組 や写真
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組		HDD にダビング中の番組や、ダウンロードして視聴期限の過ぎたまたはデータが壊れているなど再生できない番組
	HDD に代替録画された番組		本機で録画したコピー制限のある番組。 数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。
	録画禁止信号により録画できなかった番組		本機で録画したコピー制限のある番組。 ダビングするとダビング元の番組は消去されます。
	録画した 3D 映像の番組(番組によっては、表示されない場合もあります) 取り込んだ 3D の写真		ダウンロードした番組でディスクへダビングできる回数残り 1 回の番組
	HDD に録画中の番組		ダビングできない番組
	HDD にダビング(複製)中の番組		新しく取り込んだ写真
	HDD に録画・ダビング(複製)が終了した番組(画像は電源「切」時に作成されます)		録画・ダウンロード中の番組

表示マーク一覧 (続き)

ダビング、持ち出し番組一覧画面



DR、1.5 ~ 12.5 倍録モードで録画した番組
LAN 経由(スカパー! HD)で録画した番組
取り込んだ動画(AVCHD、MP4)



DR モードで録画された番組
[i.LINK(TS)ダビング時]



2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組



ダビングすると移動する番組
(詳細ダビング時)



静止画を含むもの
(HDDに静止画部分はダビングされません)



録画した 3D 映像の番組
(番組によっては、表示されない場合があります)



取り込んだ 1080/60p
(1920 × 1080/60 プログレッシブ)
記録の番組



本機で録画したコピー制限のある番組。
数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。



本機で録画したコピー制限のある番組。
ダビングするとダビング元の番組は消去されます。



ダウンロードした番組でディスクへダビングできる回数が残り 1 回の番組



ダビングできない番組



ダビング登録した番組(かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。



かんたん転送するように登録されている番組



ワンセグ画質 (QVGA) の番組



高画質 (VGA) の番組

番組表



録画予約している番組



「新番組おまかせ録画」で予約された番組

A AAC

アドバンスド オーディオ コーディング
(Advanced Audio Coding)

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式で、CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD

高精細なハイビジョン映像を記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット(規格)の名称です。

AVCHD Progressive

高精細なハイビジョン映像を、1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録できるように開発されたビデオカメラ記録フォーマット(規格)の名称です。

AVCHD 3D

高精細なハイビジョン映像を、3D 映像で記録できるように開発されたビデオカメラ記録フォーマット(規格)の名称です。

B BD - J

BD ビデオには、JAVA アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

Bitstream

ビットストリーム
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1 ch などのサラウンド音声信号に戻されます。

C CPRM (Content Protection for Recordable Media)

シービーアールエム
デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術のことです。コピー制御信号が加えられた番組は、CPRM に対応した機器とディスクに記録できます。

D Deep Color

ディープ カラー
8bit以上の色情報を扱える高色域規格の1つです。Deep Color 対応のテレビに接続することで、映像を 8bit 以上の高階調表示に変換して表示します。

DLNA (Digital Living Network Alliance)

ディーエルエヌエー
デジタル リビング ネットワーク アライアンス
ホームネットワーク環境に接続したデジタル機器同士などを連携させて、かんたんに、便利に使用するための技術です。

Dolby Digital

ドルビー デジタル
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2 ch)はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

Dolby Digital Plus

ドルビー デジタル プラス
ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大 7.1ch まで対応しています。

Dolby TrueHD

ドルビー トゥルーエイチディー
DVD オーディオで採用されている MLP ロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

DTS (Digital Theater Systems)

ディーティーエス
デジタル シアター システムズ
映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

DTS - HD

ディーティーエス エイチディー
映画館で採用されている DTS をさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来の AV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

H HDD (ハードディスクドライブ)

パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つです。表面に磁性体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

エイチディーエムアイ

HDMI

ハイデフィニション マルチメディア インターフェイス

(High-Definition Multimedia Interface)

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

アイリンク

I i.LINK

i.LINK端子を持つ機器間で映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。

i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。

ジェイベグ

J JPEG

ジョイント フォトグラフィック エキスパート グループ

(Joint Photographic Experts Group)

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選べると、元のデータ容量の1/10~1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

エルピーシーエム

ピーシーエム

L LPCM (リニア PCM)

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

マック

M MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

エムベグツー エムベグフォーエーブイシー エイチ

● MPEG-2、MPEG-4 AVC / H.264

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

エムピーフォー

● MP4

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。MP4は、パソコンでの編集やWEBアップロードに適した圧縮方式です。

ピーシーエム

P PCM

パルス コード モジュレーション

(Pulse Code Modulation)

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つで、手軽にデジタル音声が楽しめます。

キューブイジーエー

Q QVGA

クォーター ビデオ グラフィックス アレイ

(Quarter Video Graphics Array)

画面の解像度(本機では320×180)を示す表記の1つです。

ユーエスビー

U USB

ユニバーサル シリアル バス

(Universal Serial Bus)

周辺機器を接続するための規格の1つです。

バイビートル

V VBR

ヴァリアブル ビット レート

(Variable Bit Rate)

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

ブイジーエー

● VGA

ビデオ グラフィックス アレイ

(Video Graphics Array)

画面の解像度(本機では640×360)を示す表記の1つです。

① 1080p、1080i、720p、480p、480i

映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は1コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。

有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i=飛び越し走査）は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p=順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。

また、1080p、1080i、720p、480p、480iの表示は総走査線数にあたる1125p、1125i、750p、525p、525iと表示されることもあります。

② 24p

毎秒24フレーム（映画フィルムと同じ）で記録したプログレッシブ映像です。

④ ダウンミックス

サラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。

⑧ ファイナライズ

番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

● フォーマット

記録前のDVD-Rなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

● プログレッシブ（p）/インターレース（i）

インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の2回に分けて行う従来の映像信号です。

プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を1回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

● プロテクト

記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

マ ムーブバック

コピー制限のあるデジタル放送の番組をBD-REやBD-RなどからHDDに移動させることができる機能です。DVDからはムーブバックできません。

ワ ワンセグ

ワンセグ（地上デジタルテレビ放送1セグメント部分受信サービス）とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。放送内容は基本的に地上デジタル放送の通常の番組と同じですが、屋外を移動しながらでも映像と音声を楽しむことができます。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 21 W

待機時（クイックスタート「切」／エコ待機「モード2」）：

時刻表示消灯時・約 0.02 W^{*1*2}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

時刻表示消灯時・約 2.9 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

時刻表示点灯時・約 4.7 W^{*1*3}

- ※ 1・地上デジタルアッテネーター：「入」
・BS・110度CS デジタルアンテナ電源：「切」
・BS・110度CS デジタルアンテナ出力：「切」
・外部接続端子（LAN、USB、DV）：未接続
- ※ 2・エコ待機「モード1」の数値は、お客様の設定により変わります。
- ※ 3・HDMI 出力解像度：1080i
待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力	
区分名 ^{*4}	—
年間消費電力量 ^{*5}	23.1 kWh/年
省エネ基準達成率 ^{*4}	—

- ※ 4 ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分 / 省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。
- ※ 5 表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です。

■ 本体

寸法：

幅 430 mm × 高さ 41.5 mm × 奥行 199 mm（突起部含まず）

幅 430 mm × 高さ 41.5 mm × 奥行 209 mm（突起部含む）

質量：約 2.3 kg

許容周囲温度：5℃～40℃

許容相対湿度：10%～80%RH（結露なきこと）

■ テレビジョン方式

映像：地上デジタル放送方式（日本）、

衛星デジタル放送方式（日本）

アンテナ受信入力：

地上デジタル入力：

90 MHz～770 MHz 75 Ω（VHF：1～12 CH、

UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH）

BS・110度CSデジタル-IF入力：

1032 MHz～2071 MHz（IF入力周波数）75 Ω

電源供給：DC 15 V、最大4 W

■ 入出力端子（映像・音声を除く）

DV入力/TS入出力端子：

4ピン：1系統（IEEE1394 準拠）、端子は背面1装備

SDメモリーカードスロット：1系統

LAN端子：1系統（10BASE-T/100BASE-TX）

USB端子：背面1系統（DC 5 V MAX 500 mA）

■ 映像

記録圧縮方式：

MPEG-2（Hybrid VBR）、MPEG-4 AVC/H.264

映像入力：

入力端子：1系統（ピンジャック）

入力レベル：1.0 Vp-p 75 Ω

映像出力：

出力端子：1系統（ピンジャック）

出力レベル：1.0 Vp-p 75 Ω

HDMI映像・音声出力：

出力端子：1系統（19ピン typeA 端子）

（480p/1080i/720p/1080p）

■ 音声

記録・再生圧縮方式：

MPEG-2 AAC（DR、1.5倍録～12.5倍録モード・デジタル放送記録時）：最大5.1ch記録

Dolby Digital（1.5倍録～12.5倍録モード・外部入力記録時、XP、SP、LP、EP、FRモード）：2ch記録

アナログ入力：

入力端子：2ch入力、1系統（ピンジャック）

入力レベル：

FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB）

入力インピーダンス：22 kΩ

アナログ出力：

出力端子：2ch出力、1系統（ピンジャック）

出力レベル：

FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB）

出カインピーダンス：1 kΩ（負荷インピーダンス：10 kΩ）

デジタル出力：

HDMI映像・音声出力端子：1系統

■ SD 部

対応カード：

- SD カード：FAT12/FAT16
- SDHC カード：FAT32
- SDXC カード：exFAT

■ USB 部

バージョン：ハイスピードUSB（USB2.0 準拠）

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD 対応：USB-HDD（160 GB 以上 2 TB 以下）

最大 8 台まで登録可能

■ 写真

画素数：

34 × 34 ~ 8192 × 8192

サブサンプリング：4 : 2 : 2、4 : 2 : 0

解凍時間^{*6}：約 2 秒（1010 万画素）

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、DVD-RAM、SD カード

再生のみ可能メディア：

BD-R、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB

ファイル方式：

- JPEG：ベースライン方式（DCF 準拠）
 - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）
 - ・MOTION JPEG 非対応
- MPO：マルチピクチャーフォーマット（MPF 準拠）
 - ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

フォルダ数：

BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 500^{*7}

ファイル数：

- HDD：最大 20000
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 10000^{*8}

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応

■ MPEG-2 動画

ファイル形式：SD VIDEO規格準拠

圧縮方式：MPEG-2

■ AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■ MP4 動画

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット

・ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

ビデオ圧縮方式：

- MPEG-4 AVC/H.264：High profile 4.2 以下
- 解像度：1920 × 1080 まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ~ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

（音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります）

■ 持ち出し動画

ファイル形式 / 画質：

SD VIDEO 規格 (ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠 / 320 × 180 15 fps (412 kbps)

SD VIDEO 規格 (H.264 Mobile Video Profile) 準拠 / 640 × 360 30 fps (1.5 Mbps、1.0 Mbps)

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

DCF 準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したフォーマットが使用できます。

DCF：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格]

※6 解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

※7 最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数（ルートもフォルダとして数える）

※8 最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数（JPEG と MPO のファイル合計）

仕様 (続き)

録画モードと記録時間の目安

録画モード			ディスク	内蔵HDD	BD-RE、BD-R				
				500 GB	128 GB (片面4層) ^{*9}	100 GB (片面3層)	50 GB (片面2層)	25 GB (片面1層)	
放送画質	DR	BS デジタル	HD放送 (≤ 24 Mbps)	約 45 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分	
			SD放送 (≤ 12 Mbps)	約 90 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	
	地上 デジタル	HD放送 (≤ 17 Mbps)	約 63 時間	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間		
ハイビジョン画質			1.5 倍録	約 67 時間 30 分	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分	
			1.6 倍録	約 72 時間	約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分	
			1.8 倍録	約 81 時間	約 22 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間	
			2 倍録 (HG)	約 90 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	
			2.3 倍録	約 103 時間 30 分	約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間	
			2.5 倍録	約 112 時間 30 分	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分	
			2.7 倍録	約 121 時間 30 分	約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間	
			3 倍録 (HX)	約 135 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分	
			3.5 倍録	約 157 時間 30 分	約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分	
			4 倍録 (HE)	約 180 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	
			4.5 倍録	約 202 時間 30 分	約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分	
			5 倍録 (HL)	約 225 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	
			5.5 倍録	約 247 時間 30 分	約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間	
			6 倍録	約 270 時間	約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間	
			7 倍録	約 315 時間	約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	
		8 倍録 (HM)	約 360 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分		
		9 倍録	約 405 時間	約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分		
		10 倍録	約 450 時間	約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分		
		11 倍録	約 495 時間	約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分		
		12 倍録	約 540 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間		
		12.5 倍録 (HB)	約 562 時間 30 分	約 139 時間 35 分	約 108 時間 20 分	約 54 時間 10 分	約 27 時間 5 分		
DVD画質			XP	本機では録画できません					
			SP						
			LP						
			EP (8 時間)						

※ 9 片面4層はBD-Rのみ。2012年2月現在、BD-R (128 GB: 片面4層) は発売されていません。

ディスク	DVD-RAM DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
録画モード			
ハイビジョン画質	1.5倍録	約36分	約1時間7分
	1.6倍録	約39分	約1時間12分
	1.8倍録	約44分	約1時間21分
	2倍録 (HG)	約48分	約1時間30分
	2.3倍録	約56分	約1時間43分
	2.5倍録	約1時間	約1時間52分
	2.7倍録	約1時間5分	約2時間1分
	3倍録 (HX)	約1時間12分	約2時間15分
	3.5倍録	約1時間24分	約2時間37分
	4倍録 (HE)	約1時間36分	約3時間
	4.5倍録	約1時間48分	約3時間22分
	5倍録 (HL)	約2時間	約3時間45分
	5.5倍録	約2時間12分	約4時間7分
	6倍録	約2時間24分	約4時間30分
	7倍録	約2時間48分	約5時間15分
	8倍録 (HM)	約3時間12分	約6時間
	9倍録	約3時間36分	約6時間45分
	10倍録	約4時間	約7時間30分
	11倍録	約4時間24分	約8時間15分
12倍録	約4時間48分	約9時間	
12.5倍録 (HB)	約5時間	約9時間30分	
DVD画質	XP	約1時間	約1時間45分
	SP	約2時間	約3時間35分
	LP	約4時間	約7時間10分
	EP (8時間)	約8時間	約14時間20分

本機では録画できません

お知らせ

- **HDD** 持ち出し番組や写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（**HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** では、特にその差が著しくなります）
- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を17 Mbps、BSデジタル放送を24 Mbpsで録画したものと計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

仕様 (続き)

■記録できる最大番組数 (使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

- **HDD** : 3000 (持ち出し番組を含む) (長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)
- **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** : 200
- **RAM(VR)** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)** : 99
- **USB-HDD** : 1000 (撮影ビデオ、写真は記録できません)

■予約可能番組数

128 (予約可能期間 : 1 年間)

■スカパー！HD の番組の記録時間の目安

番組	内蔵HDD	500 GB
スカパー！HD のハイビジョン画質の番組		約 116 時間 (約 63 ~ 146 時間)
スカパー！HD の標準画質の番組		約 199 時間 (約 126 ~ 383 時間)

- 録画する番組によって記録できる時間は変動します。() は変動する記録時間の目安です。

■最大チャプターマーク数 (記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

- **HDD** **USB-HDD** : 1 番組当たり約 999 個
- **BD-RE** * 10 **BD-R** * 10 **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)** : ディスク当たり約 999 個
※ 10 BDXL は約 20000 個
- **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** : 1 番組当たり約 100 個

■持ち出し番組の記録可能時間の目安

SD カード	画質	ワンセグ (412 kbps)	VGA (1.0 Mbps)	VGA (1.5 Mbps)
4 GB		約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
16 GB		約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
64 GB		約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分

SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

- **最大番組数** : 99 [ハイビジョン動画 (AVCHD) 以外の動画を含む]

■ デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch (チャンネル数) は最大チャンネル数を表示]

接続端子	HDMI 端子			
	Bitstream ^{*11}		PCM ^{*12}	
「デジタル出力」の設定				
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定	入 ^{*13}	切	入 ^{*14}	切
Dolby Digital Dolby Digital EX ^{*15}	Dolby Digital	オリジナルの 音声で出力	DVD-V 5.1ch BD-V 7.1ch ^{*16}	
Dolby Digital Plus Dolby TrueHD			7.1ch	
DTS Digital Surround DTS-ES ^{*15}	DTS Digital Surround		DVD-V 5.1ch BD-V 7.1ch ^{*17}	
DTS-HD High Resolution Audio			7.1ch ^{*17}	
DTS-HD Master Audio				
7.1ch LPCM	7.1ch PCM			

※ 11 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例：テレビなど) で出力します。

※ 12 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 13 **BD-V** 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(→139) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 14 副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

※ 15 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※ 16 **BD-V** 「7.1ch 音声リマッピング」(→141) が「切」時は 5.1ch になります。

※ 17 DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



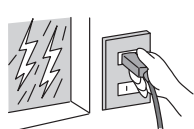
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

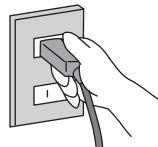


接触禁止



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)



傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

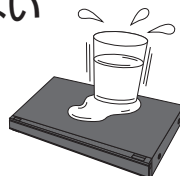
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

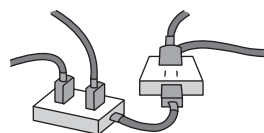
メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

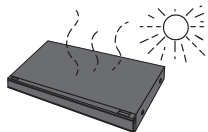


そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 注意

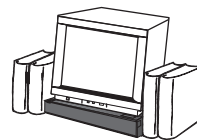
異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない



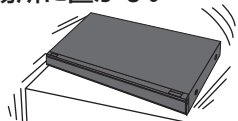
内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさいがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

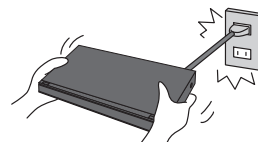


- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

●ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

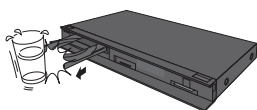
ディスプレイに指をはさまれないように注意する



指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

機器の前にものを置かない



リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスプレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスプレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない



病状悪化の原因になることがあります。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する



そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
●適度な休憩をとってください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする



お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合があります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる



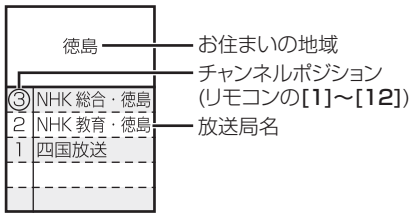
長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

地上デジタル放送チャンネル一覧表(地域名入力)

●「かんたん設置設定」で選択された地域の放送局とチャンネルポジション(リモコンの[1]～[12])の組み合わせは下表のようになります。他地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)	北海道(室蘭)
放送局名	3 NHK総合・札幌 2 NHKEテレ札幌 1 HBC札幌 5 STV札幌 6 HTB札幌 8 UHB札幌 7 TVH札幌	3 NHK総合・函館 2 NHKEテレ函館 1 HBC函館 5 STV函館 6 HTB函館 8 UHB函館 7 TVH函館	3 NHK総合・旭川 2 NHKEテレ旭川 1 HBC旭川 5 STV旭川 6 HTB旭川 8 UHB旭川 7 TVH旭川	3 NHK総合・帯広 2 NHKEテレ帯広 1 HBC帯広 5 STV帯広 6 HTB帯広 8 UHB帯広 7 TVH帯広	3 NHK総合・釧路 2 NHKEテレ釧路 1 HBC釧路 5 STV釧路 6 HTB釧路 8 UHB釧路 7 TVH釧路	3 NHK総合・北見 2 NHKEテレ北見 1 HBC北見 5 STV北見 6 HTB北見 8 UHB北見 7 TVH北見	3 NHK総合・室蘭 2 NHKEテレ室蘭 1 HBC室蘭 5 STV室蘭 6 HTB室蘭 8 UHB室蘭 7 TVH室蘭
お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
放送局名	3 NHK総合・仙台 2 NHKEテレ仙台 1 TBCテレビ 8 仙台放送 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送	1 NHK総合・秋田 2 NHKEテレ秋田 4 ABS秋田放送 8 AKT秋田テレビ 5 AAB秋田朝日放送	1 NHK総合・山形 2 NHKEテレ山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合・盛岡 2 NHKEテレ盛岡 6 IBCテレビ 4 テレビ岩手 8 めんこいテレビ 5 岩手朝日テレビ	1 NHK総合・福島 2 NHKEテレ福島 8 福島テレビ 4 福島中央テレビ 5 KFB福島放送 6 テレビユー福島	3 NHK総合・青森 2 NHKEテレ青森 1 RAB青森放送 6 ATV青森テレビ 5 青森朝日放送	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送
お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
放送局名	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 t v k 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 群馬テレビ 12 放送大学	1 NHK総合・水戸 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 チバテレビ 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 とちぎテレビ 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 テレ玉 12 放送大学	1 NHK総合・長野 2 NHKEテレ長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送
お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	1 NHK総合・新潟 2 NHKEテレ新潟 6 BSN 8 NST 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21	1 NHK総合・甲府 2 NHKEテレ甲府 4 YBS山梨放送 6 UTY	1 NHK総合・大阪 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 7 テレビ大阪	1 NHK総合・京都 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 5 KBS京都	1 NHK総合・神戸 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 3 サンテレビ	1 NHK総合・和歌山 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 5 テレビ和歌山	1 NHK総合・奈良 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 9 奈良テレビ
お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
放送局名	1 NHK総合・天津 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 3 BBCびわ湖放送	1 NHK総合・広島 2 NHKEテレ広島 3 RCCテレビ 4 広島テレビ 5 広島ホームテレビ 8 TSS	1 NHK総合・岡山 2 NHKEテレ岡山 4 RNC西日本テレビ 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ	1 NHK総合・高松 2 NHKEテレ高松 4 RNC西日本テレビ 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ	3 NHK総合・松江 2 NHKEテレ松江 8 山陰中央テレビ 6 BSSテレビ 1 日本海テレビ	3 NHK総合・鳥取 2 NHKEテレ鳥取 8 山陰中央テレビ 6 BSSテレビ 1 日本海テレビ	1 NHK総合・山口 2 NHKEテレ山口 4 KRY山口放送 3 tysテレビ山口 5 yab山口朝日

表の見かた



(2012年2月現在)

お住まいの地域	愛知	三重	岐阜	石川	静岡	福井	富山
放送局名	3 NHK 総合・名古屋	3 NHK 総合・津	3 NHK 総合・岐阜	1 NHK 総合・金沢	1 NHK 総合・静岡	1 NHK 総合・福井	3 NHK 総合・富山
	2 NHKEテレ名古屋	2 NHKEテレ名古屋	2 NHKEテレ名古屋	2 NHKEテレ金沢	2 NHKEテレ静岡	2 NHKEテレ福井	2 NHKEテレ富山
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 テレビ金沢	6 SBS	7 FBC テレビ	1 KNB 北日本放送
	5 CBC	5 CBC	5 CBC	5 北陸朝日放送	8 テレビ静岡	8 福井テレビ	8 BBT 富山テレビ
	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 MRO	4 だいいちテレビ		6 チューリップテレビ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	8 石川テレビ	5 静岡朝日テレビ		
	10 テレビ愛知	7 三重テレビ	8 ぎふチャン				

お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
放送局名	1 NHK 総合・松山	3 NHK 総合・徳島	1 NHK 総合・高知	3 NHK 総合・福岡	1 NHK 総合・熊本	1 NHK 総合・長崎	3 NHK 総合・鹿児島
	2 NHKEテレ松山	2 NHKEテレ徳島	2 NHKEテレ高知	3 NHK 総合・北九州	2 NHKEテレ熊本	2 NHKEテレ長崎	2 NHKEテレ鹿児島
	4 南海放送	1 四国放送	4 高知放送	2 NHKEテレ福岡	3 RKK 熊本放送	3 NBC 長崎放送	1 MBC 南日本放送
	5 愛媛朝日		6 テレビ高知	2 NHKEテレ北九州	8 TKU テレビ熊本	8 KTN テレビ長崎	8 KTS 鹿児島テレビ
	6 あいテレビ		8 さんさんテレビ	1 KBC 九州朝日放送	4 KKT くまもと県民	5 NCC 長崎文化放送	5 KKB 鹿児島放送
	8 テレビ愛媛			4 RKB 毎日放送	5 KAB 熊本朝日放送	4 NIB 長崎国際テレビ	4 KYT 鹿児島読売TV
				5 FBS 福岡放送			
				7 TVQ 九州放送			
				8 TNC テレビ西日本			

お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄
放送局名	1 NHK 総合・宮崎	1 NHK 総合・大分	1 NHK 総合・佐賀	1 NHK 総合・那覇
	2 NHKEテレ宮崎	2 NHKEテレ大分	2 NHKEテレ佐賀	2 NHKEテレ沖縄
	6 MRT 宮崎放送	3 OBS 大分放送	3 STS サガテレビ	3 RBC テレビ
	3 UMK テレビ宮崎	4 TOS テレビ大分		5 QAB 琉球朝日放送
		5 OAB 大分朝日放送		8 沖縄テレビ (OTV)

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。
DTS-HD、シンボルマークおよび DTS-HD とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD Master Audio | Essential は DTS, Inc. の商標です。製品はソフトウェアを含みます。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- i.LINK と i.LINK ロゴ  は商標です。
- DLNA(R)、DLNA ロゴ、DLNA CERTIFIED(R) は、Digital Living Network Alliance の商標または認証マークです。
- 『「スカパー! HD 録画」ロゴ』は、スカパー JSAT 株式会社の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
-  マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。
- e-move™ 及び e-move ロゴはパナソニック株式会社の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- "AVCHD"、"AVCHD 3D"、"AVCHD Progressive"、および "AVCHD 3D/Progressive" はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- "DVD Logo" は DVD フォーマットロゴライセンス株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画(以下、AVC/VC-1 ビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号 および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[スタート] ボタンを押し、「全機能から選ぶ」→「設定する・その他の機能」→「メール／情報・診断コード」→「メール／情報」→「ID 表示」→「ソフト情報」をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は 2012 年 2 月現在のデジタル放送規格の運用条件(著作権保護内容)に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

英数字	ページ
■ AVCHD	
再生する	61
取り込む	95
■ AVCREC 方式	20
■ AV ネットワーク機能	
設定する	146
操作する	122
■ B-CASカード	
挿入する	158
テストする	129
番号を見る	128
■ BD-Live	69
BD-Live インターネット接続	137
■ CATV	90
接続する	162
録画予約する	90
■ DNS-IP 自動取得	142
■ DR モード	56
■ DVD 画質	56
■ DVおまかせ取込	99
■ e-move	69
■ FR (フレキシブルレコーディング)	56
■ HDD	
取り扱い	156
フォーマット	138
■ HDMI	
HDMI 音声出力	141
アンプと接続	167
設定する (「HDMI接続」)	141
テレビと接続	160
■ i.LINK	
i.LINK 機器モード設定	141
i.LINK (TS) 対応機器とのダビング	101
設定する	141
■ IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定	142
■ Irシステム	
Irシステムを接続する	163
Irシステムを使ってタイマー予約する	92
■ MP4	
再生する	61
取り込む	95
■ MPEG2	
ダビングする	97
■ SDカード	151
MPEG2 動画のダビング	97
入れ方/出し方	19
撮影ビデオを取り込む	95
撮影ビデオを見る	61
写真の再生	104
写真の取り込み	107
フォーマット	124
プロテクト (書き込み禁止)	151
持ち出し番組の転送	114
■ U30	182
■ USB-HDD	
接続する	152
登録する	153
予約録画する	39
■ USB 機器	154
MPEG2 動画のダビング	97
撮影ビデオを取り込む	95
写真の再生	104
写真の取り込み	107
接続する	154
持ち出し番組の転送	114
■ VR 方式 (DVDビデオレコーディング規格)	20
■ Wooo リンク	
HDMIケーブルで接続する (アンプ)	167
HDMIケーブルで接続する (テレビ)	160
操作する	110
■ 10 秒戻し	66
■ 24p 出力	141
■ 30 秒送り	66
■ 3D	
3D 再生時の注意表示	140
3D ディスクの再生方法	137
3D 方式設定	140
再生する (映像)	68
再生する (写真)	104

あ 行	ページ
■ アクトビラ	
ダウンロードする	118
見る	116
■ 暗証番号	
BD-Video の視聴可能年齢	137
DVD-Video の視聴制限	137
HDD 番組の視聴制限	138
視聴制限 (番組)	130
■ アンテナ	
アンテナ電源	133
アンテナの調整 (アンテナレベル)	132
接続する	159
■ アンブと接続する	167
■ エコ待機	25
■ 枝番号	34
■ お好みチャンネル	32
■ 追っかけ再生	37
■ お手入れ	155
■ 音楽	
再生する (CD)	109
■ 音質効果	71
■ 音声	
DV入力から録画する	
(「DV入力時の音声設定」)	140
音声言語を切り換える (音声情報)	70
音声効果を設定する	71
音声を切り換える (再生時)	67
音声を切り換える (受信時)	33
外部入力から録画する	
(「外部入力音声設定」)	137
記録する音声 (主/副) を選ぶ	
(「二重音声記録時の音声選択」)	137

か 行	ページ
■ 外部入力 (L1) 取込	98
■ 画質の選択 (再生時)	71
■ 画面モード切換	33
■ かんたん設置設定	173
■ かんたんダビング	80
■ かんたん転送	114
■ かんたんネットワーク設定	175
■ 記録方式	20
■ クイックスタート	136
■ ケーブルテレビ (CATV)	
接続する	162
録画する	90
■ 高速ダビング	
高速ダビング速度	138
■ 個人情報リセット	131
■ コマ送り/コマ戻し	66

さ 行	ページ
■ サーチ	66
■ 再生する	
BDビデオ、DVDビデオ	
(市販またはレンタル)	60
音楽 (CD)	109
写真	104
スライドショー	105
ハイビジョン動画 (AVCHD)	61
番組	60
プレイリスト	61
■ 再生設定	70
■ 再生中番組の保存	86
■ 撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を取り込む	95
■ サブメニュー	
かんたんダビング	81
写真一覧	106
番組表	42
持ち出し番組一覧	114
録画一覧 (再生)	64
録画一覧 (編集)	72
■ 時間指定予約	50
■ 時刻合わせ	136
■ 視聴制限	
BDビデオの視聴可能年齢を設定する	137
DVDビデオの視聴制限を設定する	137
番組の視聴制限を設定する	130
■ 自動更新録画	53
■ 字幕	
切り換える (再生時)	70
切り換える (受信時)	34
字幕情報	70
字幕設定	130
録画モードによる記録の違い	56
■ 写真	
書き出す	108
かんたん取込	107
再生する	104
スライドショー	105
整理する	106
取り込む	107
プロテクト	106
■ 受信アンテナ設定	132
■ 仕様	204
■ 消去する	
写真	106
全写真消去 (HDD)	138
全番組消去 (HDD)	138
全番組消去 (ブルーレイディスク、DVD) ...	126
番組	78
持ち出し番組	114
■ 詳細ダビング	
MPEG2動画をダビングする	97
番組をダビングする	82
ファイナライズ後のディスク	
(DVDビデオ) をダビングする	84
■ 初期設定	136
初期化する (初期設定リセット)	137
■ 信号切換	
再生時	70
放送受信時	34
■ 信号設定	49
■ 診断コード	183
■ 新番組おまかせ録画	45
■ スカパー! HD 録画	
接続する	169、170
設定する	146
録画予約する	103
■ スキップ	66
■ スタート	27
■ スロー再生	66
■ 選局対象	130
■ 操作状態の表示 (情報表示)	
再生時	67
受信時	33

た 行	ページ
■ 代替録画	53
■ タイムワープ	67
■ ダウンミックス	139
■ ダウンロード	
ソフトウェア更新	147
番組のダウンロード	118
■ 他機器での再生について	23
■ 他のBD機器再生 (ファイナライズ)	127
■ 他のDVD機器再生 (ファイナライズ)	127
■ ダビング	
i.LINK (TS) 対応機器	101
MPEG2 動画	97
かんたんダビング	80
再生中番組の保存	86
詳細ダビング	82
ビデオカメラから	94
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) (詳細ダビング)	84
■ チャプター	76
再生・編集する	77
自動チャプター	138
■ チャプターマーク	76
■ チャンネル設定	134
■ 重複について	54
■ 通信による G ガイド受信	129
■ 続き再生メモリー機能	66
■ ディスク	
記録できるディスク	20
再生のみできるディスク	150
ディスクの選び方	22
ディスクの再生方法 (再生設定)	70
ディスクのメニュー画面	60
名前を付ける	126
フォーマット	124
プロテクト	126
■ データ放送	31
■ 同時録画再生	37
■ 同時録画について	58

な 行	ページ
■ 名前を付ける	
アルバム (写真)	106
イベント (写真)	106
ディスク	126
番組	72
予約録画	50
■ 二重放送	
音声の記録について	55
記録する音声 (主/副) を選ぶ (「二重音声記録時の音声選択」)	137
■ ネットワーク	
かんたんネットワーク設定	175
接続する	168
設定する	142

は 行	ページ
■ ハイビジョン画質.....	56
■ ハイビジョン動画 (AVCHD)	
再生する.....	61
取り込む.....	95
■ 早送り・早戻し (サーチ).....	66
■ 早見再生 (1.3倍速).....	66
■ 番組	
再生する.....	60
消去する.....	78
名前を付ける.....	72
プロテクト.....	72
編集する.....	72
■ 番組結合.....	73
■ 番組追従機能.....	53
■ 番組表	
枝番号表示を非表示にする (選局対象).....	130
画面の見方.....	40
検索 (フリーワード、ジャンル).....	44
設定を確認する.....	129
表示チャンネル数を変更する.....	42
表示を変更する.....	41
予約録画する.....	38
■ 番組分割.....	73
■ 番組持ち出し.....	112
■ ぴったり録画.....	37
■ ビデオ方式 (DVDビデオ規格).....	20
■ ファイナライズ	
ファイナライズ解除.....	127
他のBD/DVD機器再生 (ファイナライズ)....	127
■ フォーマット (初期化).....	124
■ 部分消去.....	72
■ プレイリスト	
再生する (番組).....	61
■ プロキシサーバー設定.....	142
■ プロテクト (書き込み禁止)	
SDカード.....	151
写真.....	106
ディスク.....	126
番組.....	72
■ 編集する	
番組.....	72
■ 放送設定.....	129
■ 放送メール.....	128
■ ポップアップメニュー.....	60
■ 本体表示窓の明るさ.....	140

ま 行	ページ
■ 毎日・毎週予約.....	53
設定する	48
毎日・毎週予約で録画した番組の再生 (まとめ番組の再生)	65
■ マイラベル	
設定する (予約時)	49
設定する (録画一覧で)	74
■ まとめ番組.....	65
■ ムーブバック (詳細ダビング).....	82
■ メール/情報.....	128
■ 文字入力.....	119
■ 持ち出し番組	
SD カードの記録時間の目安	208
SD カードを確認・消去	115
画質を変更する (「持ち出し番組の VGA 画質」).....	138
作成する (予約登録時)	112
作成する (録画後).....	113
転送する	114

や 行	ページ
■ 野球延長対応 (番組追従)	53
■ 予約確認	51
■ 予約録画	
Irシステムを使って (タイマー予約)	92
重複について.....	54
番組表を使って.....	38
予約内容の確認・取り消し・修正.....	51
録画日時を指定して (時間指定予約)	50

ら 行	ページ
■ リージョンコード / リージョン番号	150
■ リピート再生	71
■ リモコン	
各部の働き	18
他機器が同時に動作するのを防ぐ (リモコンモード).....	144
本機のリモコンでテレビを操作する	145
■ リモコンモード	144
■ 録画中に再生する (追っかけ再生 / 同時録画再生)	37
■ 録画中の同時操作	148
■ 録画モード	56
変換する.....	75
■ 録画モードと記録時間の目安	206

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

- 持込修理および部品購入については、下記エコーセンターまたはお客様相談センターにて、各地区のサービスセンターをご紹介します。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

修理などアフターサービスに関する

ご相談はエコーセンターへ

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

受付時間 9:00~19:00 (365日)

携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについての

ご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

受付時間 9:00~17:30 (月~土)

9:00~17:00 (日、祝日)

年末年始は休ませていただきます。

携帯電話、PHSからもご利用できます。

保証とアフターサービス(必ずご覧ください)

修理を依頼される時は(出張修理)

「故障かな!？」に従って調べていただき、異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書(別添)	補修用性能部品の保有期間	ご不明な点や修理に関するご相談は
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。 保証期間…お買い上げ日から1年です。	この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。	修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載されたお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

---保証期間中は---
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

---保証期間が過ぎているときは---
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ブルーレイディスクレコーダー
型式	DVL-BRT12
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	※付近の目印などもあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	

修理料金のしくみ


技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。ブルーレイディスクレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責について、当社は一切責任を負いません。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を!

	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ● 煙が出たり、異常なおいや音がする ● 映像や音が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体に変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある 	ご使用中止	事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。
	▶			

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年 月 日	販売店名	電話 () -
	型式	DVL-BRT12		
	B-CASカード番号	B-CASカード番号を記入してください。お問い合わせのときに必要な場合があります。		